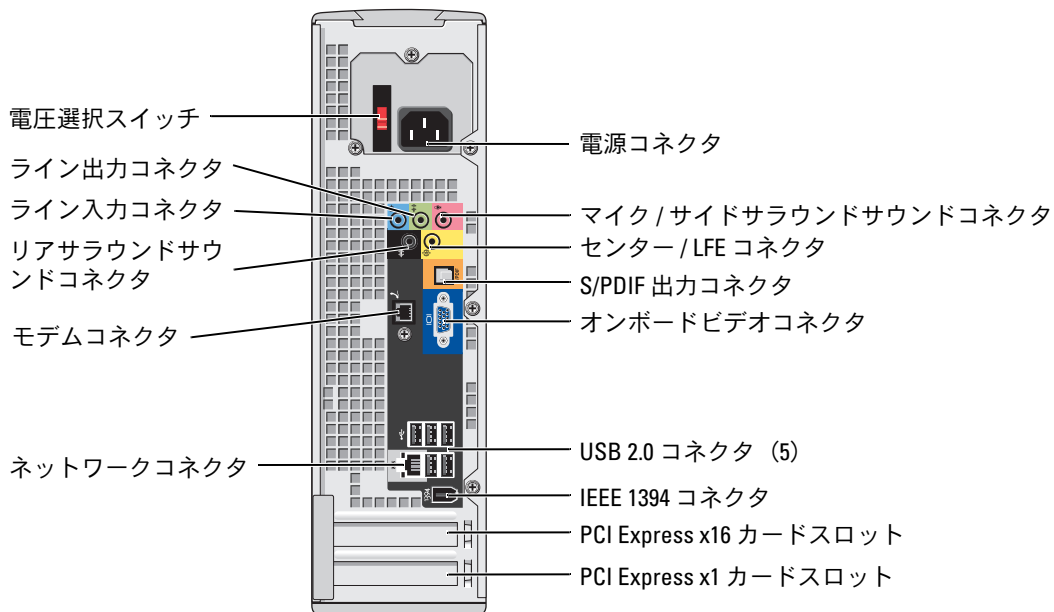
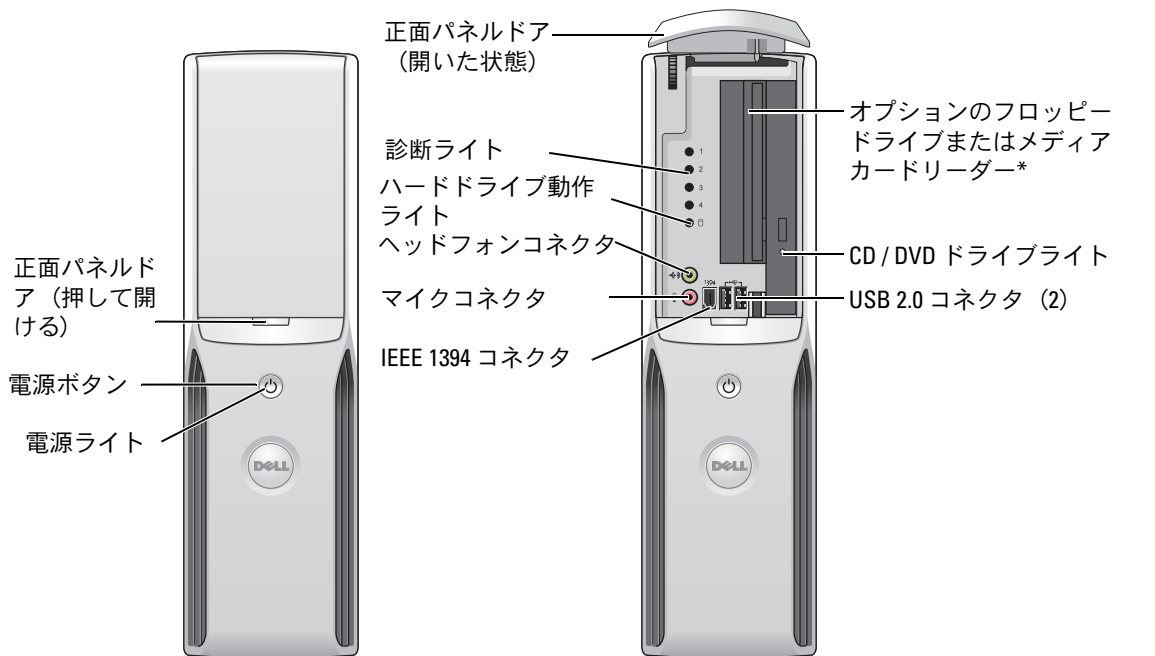


# Dell™ Dimension™ 5150C

## オーナーズマニュアル



\*機種によってはない場合があります。

Model DHP

## メモ、注意、警告



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



**注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



**警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入された場合、このマニュアル内の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する記述は適用されません。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2006 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について：Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、DellNet、および PowerConnect はすべて Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、Intel SpeedStep、および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

Model DHP

2006 年 9 月

P/N YD059

Rev. A03

# 目次

情報の検索	9
<b>1 コンピュータのセットアップと使用</b>	
<b>プリンタのセットアップ</b>	<b>13</b>
プリンタケーブル	13
USB プリンタの接続	14
<b>メディアカードリーダーの使用 (オプション)</b>	<b>14</b>
<b>TV の接続 (オプション)</b>	<b>15</b>
画面設定の変更	16
<b>家庭用および企業用ネットワークのセットアップ</b>	<b>16</b>
ネットワークアダプタへの接続	16
ネットワークセットアップウィザード	17
<b>インターネットへの接続</b>	<b>17</b>
インターネット接続のセットアップ	17
<b>CD または DVD の再生</b>	<b>19</b>
音量の調節	21
画面の調整	21
<b>CD および DVD のコピー</b>	<b>21</b>
CD または DVD のコピー方法	22
空の CD および DVD の使い方	22
役に立つヒント	23
<b>Power Management (電源の管理)</b>	<b>24</b>
スタンバイモード	24
休止状態モード	25
電源オプションのプロパティ	25
<b>Intel® ViiV™ テクノロジ (オプション) について</b>	<b>27</b>

<b>Intel® Viiv™ Quick Resume Technology</b>	
<b>(オプション) の使い方</b> . . . . .	<b>27</b>
セットアップユーティリティで QRT 機能を有効にする手順 . . . . .	28
オペレーティングシステムで QRT 機能を有効にする手順 . . . . .	28
<b>ハイパースレッディング</b> . . . . .	<b>29</b>

## 2 問題の解決

<b>トラブルシューティングのヒント</b> . . . . .	<b>31</b>
<b>バッテリーの問題</b> . . . . .	<b>31</b>
<b>ドライブの問題</b> . . . . .	<b>32</b>
CD および DVD ドライブの問題 . . . . .	32
ハードドライブの問題 . . . . .	33
<b>電子メール、モデム、およびインターネットの問題</b> . . . . .	<b>34</b>
<b>エラーメッセージ</b> . . . . .	<b>35</b>
<b>メディアカードリーダーの問題</b> . . . . .	<b>36</b>
<b>IEEE 1394 デバイスの問題</b> . . . . .	<b>37</b>
<b>キーボードの問題</b> . . . . .	<b>37</b>
<b>コンピュータのフリーズおよびソフトウェアの問題</b> . . . . .	<b>38</b>
コンピュータが起動しない場合 . . . . .	38
コンピュータの反応が停止した場合 . . . . .	38
プログラムが応答しなくなった場合 . . . . .	38
プログラムが繰り返しクラッシュする場合 . . . . .	38
プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティングシステム用に設計されている場合 . . . . .	39
画面が青色 (ブルースクリーン) になった場合 . . . . .	39
その他のソフトウェアの問題 . . . . .	39
<b>メモリの問題</b> . . . . .	<b>40</b>
<b>マウスの問題</b> . . . . .	<b>40</b>
<b>ネットワークの問題</b> . . . . .	<b>41</b>
<b>電源の問題</b> . . . . .	<b>42</b>
<b>プリンタの問題</b> . . . . .	<b>43</b>
<b>スキャナーの問題</b> . . . . .	<b>44</b>

サウンドとスピーカーの問題 . . . . .	45
スピーカーから音がしない場合 . . . . .	45
ヘッドフォンから音がしない場合 . . . . .	46
ビデオとモニターの問題 . . . . .	46
画面に何も表示されない場合 . . . . .	46
画面が見づらい場合 . . . . .	47
<b>3</b> <b>トラブルシューティングツール</b>	
<b>診断ライト . . . . .</b>	<b>49</b>
<b>Dell Diagnostics (診断) プログラム . . . . .</b>	<b>53</b>
Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用する場合 . . . . .	53
Dell Diagnostics (診断) プログラムの Main Menu (メインメニュー) . . . . .	53
<b>ドライバ . . . . .</b>	<b>55</b>
ドライバとは? . . . . .	55
ドライバの再インストール . . . . .	56
<b>ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決 . . . . .</b>	<b>57</b>
<b>オペレーティングシステムの復元 . . . . .</b>	<b>57</b>
Microsoft Windows XP システムの復元の使い方 . . . . .	57
<b>4</b> <b>部品の取り外しと取り付け</b>	
<b>作業を開始する前に . . . . .</b>	<b>63</b>
推奨する工具とツール . . . . .	63
コンピュータの電源を切る . . . . .	63
コンピュータ内部の作業を始める前に . . . . .	64
<b>コンピュータの正面および背面 . . . . .</b>	<b>65</b>
正面 . . . . .	65
コンピュータの背面 . . . . .	67
<b>コンピュータカバーの取り外し . . . . .</b>	<b>69</b>
<b>コンピュータの内部 . . . . .</b>	<b>71</b>
<b>システム基板のコンポーネント . . . . .</b>	<b>72</b>


<b>メモリ</b> . . . . .	<b>73</b>
DDR2 メモリの概要 . . . . .	73
4 GB 構成でのメモリアドレッシング . . . . .	74
メモリの取り付け . . . . .	74
メモリの取り外し . . . . .	76
<b>カード</b> . . . . .	<b>77</b>
<b>ドライブ</b> . . . . .	<b>81</b>
ドライブケーブルの接続 . . . . .	82
ドライブインタフェースコネクタ . . . . .	82
電源ケーブルコネクタ . . . . .	82
ドライブケーブルの接続と取り外し . . . . .	83
<b>ハードドライブ</b> . . . . .	<b>83</b>
ハードドライブの取り外し . . . . .	84
ハードドライブの取り付け . . . . .	85
<b>CD/DVD ドライブ</b> . . . . .	<b>86</b>
CD/DVD ドライブの取り外し . . . . .	86
CD/DVD ドライブの取り付け . . . . .	88
<b>メディアカードリーダー</b> . . . . .	<b>89</b>
メディアカードリーダーの取り外し . . . . .	90
メディアカードリーダーの取り付け . . . . .	91
<b>フロッピードライブ (オプション)</b> . . . . .	<b>93</b>
フロッピードライブの取り外し . . . . .	93
フロッピードライブの取り付け . . . . .	95
<b>モデム</b> . . . . .	<b>97</b>
モデムの交換 . . . . .	97
外部モデムコネクタの交換 . . . . .	98
<b>バッテリー</b> . . . . .	<b>99</b>
バッテリーの交換 . . . . .	100
<b>コンピュータカバーの取り付け</b> . . . . .	<b>101</b>


5	補足事項	
	仕様	103
	セットアップユーティリティ	107
	概要	107
	セットアップユーティリティの起動	108
	セットアップオプション	109
	Boot Sequence (起動順序)	112
	忘れたパスワードの取り消し	114
	CMOS 設定の取り消し	115
	コンピュータのクリーニング	116
	コンピュータ、キーボード、およびモニター	116
	マウス	116
	CD および DVD	117
	「プリインストールされている」ソフトウェアと 周辺機器の定義	117
	「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義	117
	デルの連絡先	117
	索引	119





# 情報の検索

 **メモ**：一部の機能は、国または使用されるコンピュータによっては、ご利用になれない場合があります。

 **メモ**：追加情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

---

## 何をお探しですか？

- 保証に関する情報
- 契約条項（米国内のみ）
- 安全にお使いいただくために
- 認可機関の情報
- 快適な使い方
- エンドユーザーライセンス契約

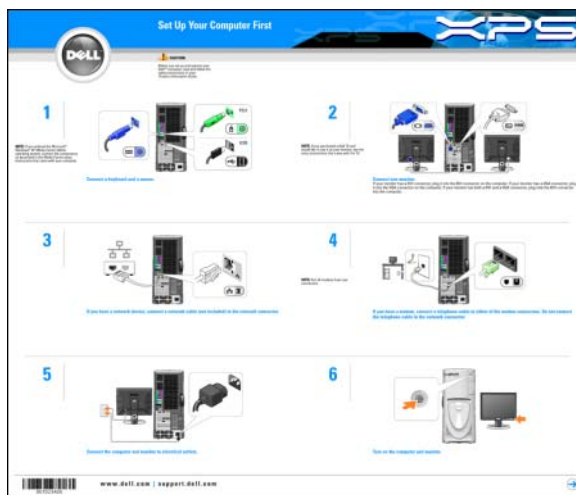
## こちらをご覧ください

### Dell™ 『製品情報ガイド』



- 
- コンピュータのセットアップ方法

## セットアップ説明図



---

## 何をお探しですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

## こちらをご覧ください

サービスタグと Microsoft Windows ライセンスラベルはコンピュータに貼付されています。

- **support.jp.dell.com**

を使用するか、テクニカルサポートに連絡する場合は、サービスタグでコンピュータを識別します。

- テクニカルサポートに連絡したときにエクスプレスサービスコードを入力すると、通話が直接接続されます。



- Q & A 検索、トラブル解消ナビ、Diagnostics (診断) プログラム、インストールガイド、お問い合わせの多い質問
- アップグレード — メモリ、ハードドライブ、またはオペレーティングシステムなどのコンポーネントに関するアップグレード情報
- 各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更申込、リサイクル・買取サービス、引き取り修理状況確認など
- サービスおよびサポート — サービスコールの状況とサービス履歴、サービス契約
- 参照資料 — マニュアル、コンピュータの設定に関する詳細情報、製品仕様、ホワイトペーパーなど
- ダウンロード — 認定ドライバ、パッチ、ソフトウェアのアップデート
- デスクトップシステムソフトウェア (DSS) — コンピュータにオペレーティングシステムを再インストールする場合、DSS ユーティリティも再インストールする必要があります。DSS は、オペレーティングシステムの重要なアップデート、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium® M プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスに関するサポートを提供します。DSS は、Dell コンピュータが正しく動作するために必要です。このソフトウェアは、お使いのコンピュータとオペレーティングシステムを自動的に判別し、構成に合わせて適切なアップデート分をインストールします。

## デルサポートサイト — support.jp.dell.com

企業、政府および教育関係のユーザーには、カスタマイズされた **Dell Premier** サポートウェブサイト [premier.dell.co.jp/premier](http://premier.dell.co.jp/premier) もご利用いただけます。

---

## 何をお探しですか？

- Windows XP の使い方
- コンピュータのマニュアル
- モデムなどのデバイスのマニュアル

---

## こちらをご覧ください

### Windows ヘルプとサポートセンター

- 1** **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
  - 2** 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、**矢印アイコン**をクリックします。
  - 3** 問題に関連する**トピック**をクリックします。
  - 4** 画面の指示に従います。
-



# コンピュータのセットアップと使用

## プリンタのセットアップ

**➡ 注意：**プリンタをコンピュータに接続する前に、オペレーティングシステムのセットアップを完了してください。


以下の操作を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- 最新ドライバの入手およびインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 用紙のロードおよびトナーやインクカートリッジのインストール
- プリンタ製造元のテクニカルサポートへの問い合わせ

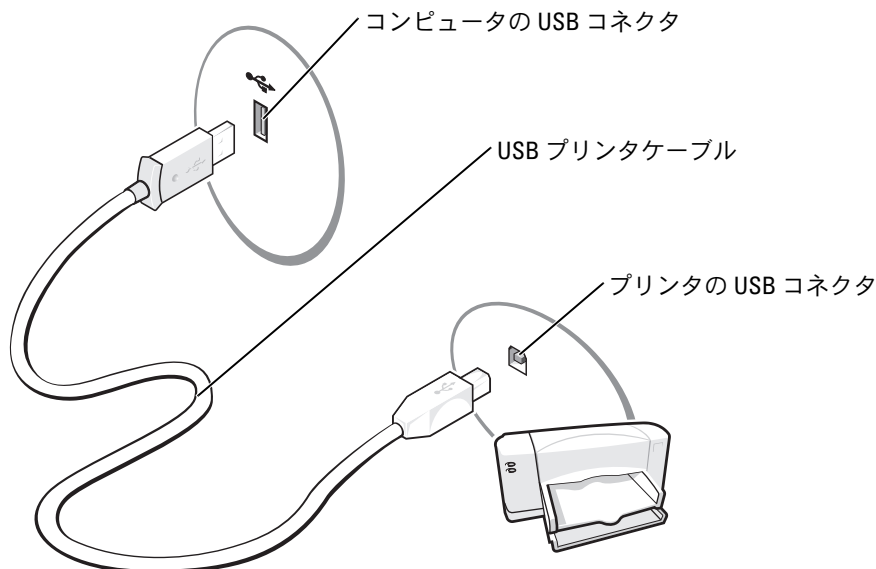
## プリンタケーブル

お使いのプリンタは、USB ケーブルでコンピュータに接続します。プリンタにプリンタケーブルが付いていない場合があります。ケーブルを別に購入する場合は、プリンタに対応するものであることを確認してください。プリンタケーブルをコンピュータと一緒に購入した場合、ケーブルはコンピュータの箱に入っていることがあります。

## USB プリンタの接続

 **メモ**：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っているときでも接続できます。

- 1 オペレーティングシステムのセットアップを完了していない場合は、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに取り付けます。USB コネクタは一方方向にしかはめ込むことができません。



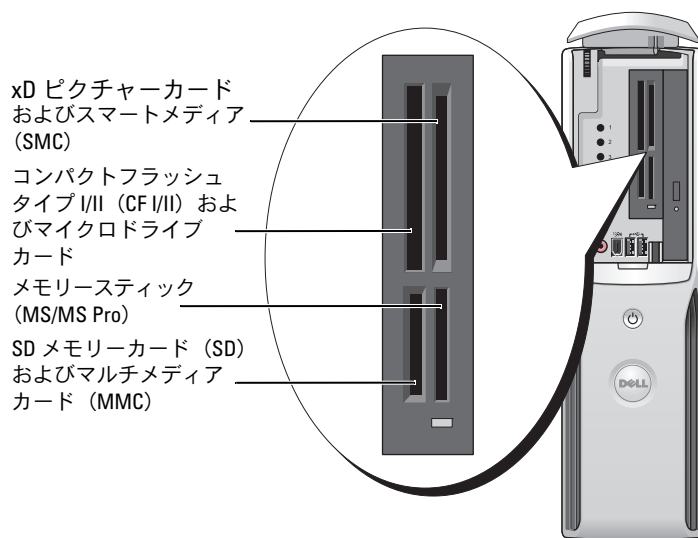
## メディアカードリーダーの使用（オプション）

メディアカードリーダーを使用してコンピュータに直接データを転送します。

メディアカードリーダーは以下の種類のメモリに対応しています。

- xD ピクチャーカード
- スマートメディア（SMC）
- コンパクトフラッシュ・タイプ I/II（CF I/II）
- マイクロドライブカード
- SD メモリーカード（SD）
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリースティック（MS/MS Pro）

メディアカードリーダーの取り付けについては、「メディアカードリーダーの取り付け」(91 ページ) を参照してください。



メディアカードリーダーを使用するには、次の手順を実行します。

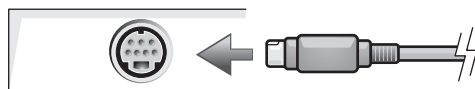
- 1 メディアやカードをチェックして、正しい挿入方向を確認します。
- 2 メディアやカードを正しいスロットに差し込んで、コネクタに完全に固定します。

スムーズに差し込むことができない場合は、メディアやカードを無理に差し込まずに、カードの向きを確認してやり直してください。

## TV の接続 (オプション)

**メモ:** TV をコンピュータへ接続するには、TV 出力機能のあるビデオカードが必要です。また、S ビデオケーブルが必要です。S ビデオケーブルは、ほとんどの電気店で入手できます。S ビデオケーブルはコンピュータには付属していません。

- 1 「作業を開始する前に」(63 ページ) の手順に従ってください。
- 2 S ビデオケーブルの一方の端を、コンピュータの背面にある TV 出力コネクタに接続します。
- 3 S ビデオケーブルのもう一方の端を、TV の S ビデオ入力コネクタに接続します。




## 画面設定の変更

- 1 TV を接続したら、コンピュータの電源を入れます。  
Microsoft® Windows® のデスクトップがモニターに表示されます。
- 2 ディスプレイ設定でクローンモードまたは拡張デスクトップモードを有効にします。
  - クローンモードでは、モニターと TV が同じ画像を表示します。
  - 拡張デスクトップモードでは、オブジェクトを 1 つの画面から別の画面にドラッグすることができ、表示可能なワークスペースの量を倍増させることができます。

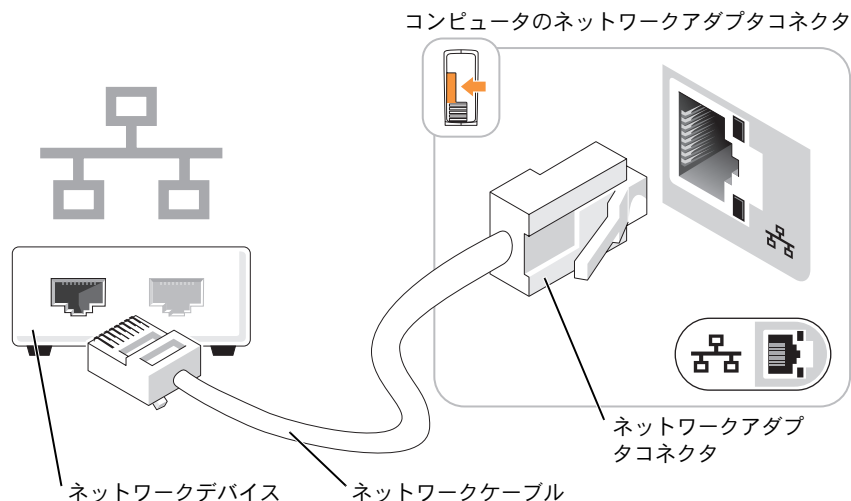
お使いのグラフィックスカードに合わせた画面設定の変更については、ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください（スタート ボタン、ヘルプとサポート、ユーザーズガイドおよびシステムガイド、**Device guides**（デバイスガイド）の順にクリックし、グラフィックスカードのガイドをクリックします）。

## 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

### ネットワークアダプタへの接続

 **メモ：**ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。コンピュータのモデムコネクタにネットワークケーブルを接続しないでください。電話ジャックにネットワークケーブルを接続しないでください。


- 1 ネットワークケーブルをコンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。  
ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。
- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。






## ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** の順にポイントしてから、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
  - 2 ネットワークセットアップウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
  - 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。
-  **メモ：インターネットに直接接続している** という接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムに用意されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
  - 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

## インターネットへの接続

 **メモ：**ISP や ISP のサービスは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などのインターネットサービスプロバイダ (ISP) との契約が必要になります。ISP は、以下のインターネット接続オプションを提供します。

- **ダイヤルアップ接続：**電話回線を介してインターネットにアクセスします。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べてかなり遅くなります。
- **DSL 接続：**既存の電話回線を介してインターネットに高速アクセスします。DSL 接続では、同じ回線でインターネットへのアクセスと電話の使用を同時に行うことができます。
- **ケーブルモデム接続：**地元のケーブル TV 回線を介してインターネットにアクセスします。

ダイヤルアップ接続を使用している場合は、インターネット接続をセットアップする前に、電話線をコンピュータのモデムコネクタと電話ジャックに接続します。DSL またはケーブルモデム接続を使用している場合は、ISP にセットアップ手順をお問い合わせください。

## インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップ上の **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってセットアップを完了します。

デスクトップ上に **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップする場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。  
**新しい接続ウィザード** が表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当するオプションをクリックします。
  - ISP と契約していない場合に新たに選択するには、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
  - ISP からセットアップ情報を入手していて、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
  - CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。

**接続を手動でセットアップする** を選択した場合は、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の指示に従ってセットアップを完了します。



**メモ**：選択する接続の種類が不明な場合は、ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されるセットアップ情報を使用して、セットアップを完了します。

インターネットへの接続に問題が発生した場合は、「電子メール、モデム、およびインターネットの問題」（34 ページ）を参照してください。以前にインターネットに正常に接続したことがあるにもかかわらず接続できない場合は、ISP がサービスを停止している可能性があります。ISP に問い合わせるサービスの状況を確認するか、後で再接続してください。


## CD または DVD の再生

- ➡ **注意**：CD や DVD のトレイを開けたり閉めたりする際にトレイを押し下げないでください。ドライブを使用していない場合は、トレイを閉めたままにしてください。
- ➡ **注意**：CD や DVD を再生している場合は、コンピュータを移動しないでください。
  - 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
  - 2 ラベル面を上にしてディスクをトレイの中央に置きます。
  - 3 カチッと所定の位置に収まるまでディスクをトレイの中央に押し込みます。











- 4 取り出しボタンを押すか、トレイを軽く押し込みます。

データを保存するために CD をフォーマットしたり、音楽 CD を作成したり、CD をコピーしたりするには、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

 **メモ**：CD を作成する場合は、必ずすべての著作権法に従ってください。

CD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。








---

	再生。
	現在のトラック内で巻き戻し。
	一時停止。
	現在のトラック内で早送り。
	停止。
	前のトラックへ移動。
	取り出し。
	次のトラックへ移動。

---

DVD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。


---

	停止。
	再生。
	早送り。
	一時停止。
	早戻し。
	次のタイトルまたはチャプターへ移動。
	前のタイトルまたはチャプターへ移動。

---

CD や DVD の再生の詳細については、CD や DVD プレーヤーの **ヘルプ** をクリックします（ヘルプがある場合）。

## 音量の調節

-  **メモ**：スピーカーの音を消している場合は、CD や DVD を再生しても何も聞こえません。
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→ **アクセサリ** → **エンターテインメント** の順にポイントしてから、**ボリュームコントロール** をクリックします。
  - 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** 列のバーをクリックしてドラッグし、上下に移動して音量を調節します。


ボリュームコントロールのオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

## 画面の調整


エラーメッセージが表示され、現在の解像度や色の深度により多くのメモリが使用され DVD の再生を阻止していると通知された場合には、画面のプロパティを調節します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックしてドラッグし、設定を **800 x 600 ピクセル** に変更します。
- 5 **画面の色** のドロップダウンメニューをクリックし、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

## CD および DVD のコピー


-  **メモ**：CD や DVD を作成する場合は必ず、すべての著作権法に従ってください。

本項は CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD コンボドライブを持つコンピュータにのみ適用されます。


-  **メモ**：デルが提供する CD ドライブまたは DVD ドライブの種類は、国によって異なる場合があります。

以下の説明では CD や DVD の完全なコピーを作成する方法を示しています。コンピュータのオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、別の目的で Sonic DigitalMedia を使用することもできます。詳細については、Sonic DigitalMedia を開き、ウィンドウの右上角にある疑問符 (?) アイコンをクリックしてください。

## CD または DVD のコピー方法

 **メモ**：CD-RW/DVD コンボドライブでは、DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブを使用していて、書き込みの際に問題が発生した場合は、[www.sonicjapan.co.jp](http://www.sonicjapan.co.jp) の Sonic サポートウェブサイト で利用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell コンピュータの DVD 書き込み可能ドライブでは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL (二層) メディアへの書き込みと読み取りが可能です。DVD-RAM または DVD-R DL メディアへの書き込みはできず、読み取りもできない場合があります。

 **メモ**：多くの市販の DVD は著作権で保護されているため、Sonic DigitalMedia を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **DigitalMedia Projects** (DigitalMedia プロジェクト) の順にポイントしてから、**バックアップ** をクリックします。
- 2 **コピー** タブで、**Disc Copy** (ディスクのバックアップ) をクリックします。
- 3 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
  - CD または DVD ドライブが 1 台の場合は、設定が正しいことを確認して、**Disc Copy** (ディスクのバックアップ) ボタンをクリックします。ソースの CD や DVD が読み取られ、データがコンピュータのハードドライブにある一時フォルダにコピーされます。  
プロンプトが表示されたら、ドライブに空の CD または DVD ディスクを挿入して、**OK** をクリックします。
  - CD または DVD ドライブが 2 台ある場合は、ソースの CD や DVD を挿入したドライブを選択して、**Disc Copy** (ディスクのバックアップ) ボタンをクリックします。ソースの CD や DVD のデータが空の CD や DVD にコピーされます。  
ソースの CD や DVD のコピーが終了したら、作成した CD や DVD が自動的に取り出されます。

## 空の CD および DVD の使い方

CD-RW ドライブでは CD 記録メディア (高速 CD-RW を含む) にしか書き込みができませんが、DVD 書き込み可能ドライブでは CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みができます。

音楽を録音したり、データファイルを永久保存する場合は、空の CD-R を使用します。作成した CD-R には再度書き込むことができません (詳細については、Sonic のマニュアルを参照してください)。CD に書き込んだり、CD のデータの消去、書換え、更新を行う場合は、空の CD-RW を使用します。

空の DVD+/-R を使用すると、大量の情報を永久保存することができます。ディスク作成プロセスの最終段階でディスクを「ファイナライズ」または「クローズ」した場合は、作成した DVD+/-R ディスクに再度書き込むことができません。そのディスクの情報を後で消去したり、書き換えたり、アップデートしたりする場合は、空の DVD+/-RW を使用してください。

### CD 書き込み可能ドライブ

メディアの種類	読み取り	書き込み	書き換え可能
CD-R	可	可	不可
CD-RW	可	可	可

### DVD 書き込み可能ドライブ

メディアの種類	読み取り	書き込み	書き換え可能
CD-R	可	可	不可
CD-RW	可	可	可
DVD+R	可	可	不可
DVD-R	可	可	不可
DVD+RW	可	可	可
DVD-RW	可	可	可
DVD+R DL	可	可	不可
DVD-R DL	場合による	不可	不可
DVD-RAM	場合による	不可	不可

### 役に立つヒント

- Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R や CD-RW にドラッグアンドドロップする場合は、まず Sonic DigitalMedia を起動して DigitalMedia プロジェクトを開いてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を作成するには、CD-R を使用してください。CD-RW は、ほとんどの家庭用ステレオやカーステレオでは再生できません。
- Sonic DigitalMedia では、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤー、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生することができます。
- ホームシアターシステム用の市販の DVD プレーヤーでは、利用可能なすべての DVD フォーマットがサポートされていない可能性があります。お使いの DVD プレーヤーでサポートされているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。

- 空の CD-R や CD-RW を最大容量まで焼かないでください。たとえば、650 MB のファイルが容量が 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、録音を完了させるために 1 ~ 2 MB のブランクスペースを必要とします。
- CD の録音技術に慣れるまで、空の CD-RW を使用して CD への録音を練習してください。間違えた場合は、CD-RW のデータを消去してやり直すことができます。また、音楽ファイルプロジェクトを空の CD-R に永久保存する場合には、空の CD-RW を使用してプロジェクトをテストできます。
- 追加情報については、[www.sonicjapan.co.jp](http://www.sonicjapan.co.jp) の Sonic ウェブサイトを参照してください。

## Power Management (電源の管理)

Microsoft® Windows® XP の電源管理機能では、コンピュータに電源が入っていてそのコンピュータを使用していない場合に、コンピュータの消費電力を減らすことができます。モニターやハードドライブのみの電力を減らしたり、スタンバイモードや休止状態モードを使用してコンピュータ全体の電力を減らすことができます。コンピュータが省電力モードから復帰すると、Windows デスクトップはそのモードに入る前の状態に戻ります。



**メモ：**Windows XP Professional には、Windows XP Home Edition では利用できないセキュリティ機能やネットワーク機能が用意されています。Windows XP Professional コンピュータがネットワークに接続している場合は、セキュリティやネットワークに関する異なるオプションが特定のウィンドウに表示されます。

### スタンバイモード

スタンバイモードでは、タイムアウト後、画面やハードドライブの電源を切って電力を節約します。スタンバイモードから復帰すると、コンピュータはそのモードに入る前の動作状態に戻ります。

非アクティブな状態が一定時間経過すると自動的にスタンバイモードに入るように設定するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロール パネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。

非アクティブな状態が一定時間経過するのを待たずに、ただちにスタンバイモードを有効にするには、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。

スタンバイモードから復帰するには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。



**注意：**コンピュータがスタンバイモードの間に電源を停止すると、データを損失するおそれがあります。



## 休止状態モード

休止状態モードでは、ハードドライブ上の確保された領域にシステムデータをコピーし、コンピュータの電源を完全に切ることによって電力を節約します。コンピュータが休止状態モードから復帰すると、デスクトップはそのモードに入る前の状態に戻ります。

休止状態モードを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで休止状態の設定を指定します。

休止状態モードから復帰するには、電源ボタンを押します。コンピュータが休止状態モードから復帰するのに少し時間がかかる場合があります。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたりしても、休止状態モードから復帰しません。これは、コンピュータが休止状態モードに入っている場合は、キーボードやマウスが機能しないためです。

休止状態モードでは、コンピュータメモリの中身を保存するのに十分な容量のあるハードドライブ上に特別なファイルが必要とします。このため、デルでは、コンピュータを出荷する前に、適切なサイズの休止状態モードファイルを作成しています。コンピュータのハードドライブが破損した場合、Windows XP は休止モードファイルを自動的に再作成します。

## 電源オプションのプロパティ

**電源オプションのプロパティ** ウィンドウで、スタンバイモード設定、休止状態モード設定、および他の電源設定を指定します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで電源設定を指定します。

## 電源設定タブ

標準の電源設定はそれぞれスキームと呼ばれます。コンピュータにインストールされた標準の Windows スキームのいずれかを選択する場合は、**電源設定** ドロップダウンメニューからスキームを選択します。各スキームの設定がスキーム名の下のフィールドに表示されます。各スキームには、スタンバイモードや休止状態モードを開始したり、モニターやハードドライブの電源を切るための異なる設定があります。

**電源設定** ドロップダウンメニューには以下のスキームが表示されます。


- **常にオン** (デフォルト) — 省電力設定を無効にしてコンピュータを使用する場合。
- **自宅または会社のデスク** — 自宅または会社のコンピュータとしてコンピュータを使用し、最小限の省電力設定を必要とする場合。
- **ポータブル/ラップトップ** — 移動中に使用するポータブルコンピュータの場合。
- **プレゼンテーション** — 中断することなく (省電力設定を使用せず) コンピュータを実行したい場合。
- **最小の電源管理** — 最小限の省電力設定でコンピュータを実行したい場合。
- **バッテリーの最大利用** — ポータブルコンピュータを使用しており、バッテリーでの使用時間を長くしたい場合。

スキームのデフォルト設定を変更する場合は、**モニタの電源を切る**、**ハードディスクの電源を切る**、**システム スタンバイ**、または**システム休止状態** フィールドのドロップダウンメニューをクリックして、表示される一覧からタイムアウトを選択します。スキームフィールドのタイムアウトを変更すると、**名前を付けて保存** をクリックして変更したスキームの新しい名前を入力しない限り、そのスキームのデフォルト設定が変更されます。

➡ **注意:** ハードドライブ (ハードディスク) がモニターより先にタイムアウトするように設定すると、コンピュータがフリーズしたような状態になります。回復するには、キーボードの任意のキーを押すか、マウスをクリックします。この問題を避けるために、ハードドライブの前にモニターがタイムアウトするように設定してください。

## 詳細設定タブ

**詳細設定** タブでは以下を実行することができます。

- すばやくアクセスできるように、電源オプションアイコン  を Windows のタスクバーに表示する。
- コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードから復帰する前に、Windows のパスワードの入力を求めるように設定する。
- スタンバイモードや休止状態モードを有効にしたり、コンピュータの電源を切るように、電源ボタンを設定する。

これらの機能を有効にするには、対応するドロップダウンメニューでオプションをクリックし、**OK** をクリックします。

## 休止状態タブ

**休止状態** タブでは、休止状態モードを有効にすることができます。**電源設定** タブで指定した休止状態設定を使用する場合は、**休止状態** タブの **休止状態を有効にする** チェックボックスをオンにします。

電力管理オプションの詳細については、以下を確認してください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ヘルプとサポート** ウィンドウで **パフォーマンスと保守** をクリックします。
- 3 **パフォーマンスと保守** ウィンドウで、**コンピュータの電力を節約する** をクリックします。

## Intel® Viiv™ テクノロジ (オプション) について

Intel Viiv テクノロジはデジタルホーム愛好者向けのテクノロジで、次のものが含まれています。

- Quick Resume (クイックレジューム) を備えた BIOS
- デバイスドライバ

このテクノロジにより、しばらく使用していなかったシステムをすぐにアクティブな状態に戻すことができます。

Intel Viiv テクノロジは、Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 およびデュアルコアプロセッサといっしょにご注文いただいたシステムのオプションです。

## Intel® Viiv™ Quick Resume Technology (オプション) の使い方

システムを Intel Viiv Quick Resume Technology (QRT) モードで実行している場合、電源ボタンはクイックオン/オフ機能として使われます。電源ボタンを 1 回押すと、ディスプレイには何も表示されなくなり、サウンドもミュートになります。このモードでは、電源ボタンインジケータが示すようにコンピュータはまだ動作中であり、診断ライト 1、2、および 4 は点灯しています。また、ハードドライブが外付けデバイスからのアクセスを受けている時に、ハードドライブインジケータの点滅に気づくことがあります。

通常のコンピュータの動作を再開するには、電源ボタンを一瞬押すか、キーボードの任意のキーを押すか、マウスを動かすか、またはオプションの Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 のリモートコントロールのボタンを押します。

## セットアップユーティリティで QRT 機能を有効にする手順

この機能をアクティブにする前に、QRT ドライバがインストールされている必要があります。このオプションを注文した場合、ドライバはインストール済みです。また、この機能を注文した場合、Quick Resume (クイックレジューム) はセットアップユーティリティで有効に設定されています。

- 1 セットアップユーティリティを起動します (108 ページを参照)。
- 2 矢印キーを押して **Power Management** (電源の管理) メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。
- 3 上下の矢印キーを押して **Quick Resume** (クイックレジューム) オプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。
- 4 左右の矢印キーを押して **On** (オン) オプションをハイライト表示し、<Enter> を押して Quick Resume (クイックレジューム) 機能を有効にします。

## オペレーティングシステムで QRT 機能を有効にする手順

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **休止状態** タブをクリックします。
- 5 **休止状態を有効にする** と **Options** (オプション) のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
- 6 **詳細設定** タブをクリックします。
- 7 **コンピュータの電源ボタンを押したとき** ドロップダウンメニューで、**何もしない** を選択します。
- 8 **コンピュータのスリープボタンを押したとき** ドロップダウンメニューで、**何もしない** を選択します。

## ハイパースレッディング

ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジーで、1つの物理プロセッサを2つの論理プロセッサとして機能させることで全体的なパフォーマンスの向上を図り、複数のタスクを同時に処理することを可能にします。Windows XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることとなりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合もあります。ソフトウェアの製造元に、アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法についてお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジーを使用しているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** の横の (+) サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは2つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティの使用の詳細については、108 ページを参照してください。



## 問題の解決

### トラブルシューティングのヒント

次のヒントに従ってコンピュータのトラブルシューティングを行ってください。

- 問題が発生し始める前に部品の取り付け / 取り外しを行った場合は、その手順を再度確認して、取り付け / 取り外しが正しく行われたか確認します。
- 周辺機器が機能しない場合は、その機器が適切に接続されているか確認します。
- エラーメッセージが画面に表示される場合は、そのメッセージを正確に書き留めておきます。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を分析および解決するのに役立つ場合があります。
- エラーメッセージがプログラム上で発生する場合は、プログラムのマニュアルを参照してください。

### バッテリーの問題



**警告：**新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂するおそれがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。



**警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**バッテリーを交換します** — コンピュータの電源を入れた後、時刻と日付の情報を繰り返しリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時刻や日付が表示される場合は、バッテリーを交換します（99 ページを参照）。それでもバッテリーが正常に機能しない場合は、デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。

## ドライブの問題



**警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識していることを確認します** — スタート ボタンをクリックして、**マイ コンピュータ** をクリックします。お使いのフロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合は、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスの検出と除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

**ドライブのテストを行います** —

- 別のフロッピーディスク、CD、または DVD を挿入して、元のディスクに問題がないことを確認します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

**メモ：**このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。

**ドライブまたはディスクをクリーニングします** — 116 ページを参照してください。

**ケーブルの接続を確認します**

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 57 ページを参照してください。

**DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します** — 53 ページを参照してください。

## CD および DVD ドライブの問題



**メモ：**高速 CD または DVD ドライブの振動は正常です。この振動によってノイズが生じることがありますが、ドライブの欠陥や CD または DVD の欠陥を示すものではありません。



**メモ：**国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、すべての DVD がお使いの DVD ドライブで再生できるわけではありません。



#### Windows の音量を調整します —

- 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライダーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- サウンドがミュートに設定されていないか確認し、設定されている場合はチェックマークの付いたボックスをクリックします。

**スピーカーおよびサブウーハーを確認します** — 「サウンドとスピーカーの問題」  
(45 ページ) を参照してください。

### CD/DVD-RW ドライブに書き込みができない場合

**他のプログラムを閉じます** — CD/DVD-RW ドライブは、データを書き込むときに一定したデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

**CD/DVD-RW ディスクへの書き込みを開始する前に、Windows のスタンバイモードを無効にします** — 省電力モードについては、24 ページを参照するか、Windows のヘルプで「スタンバイ」というキーワードで検索して該当するトピックを参照してください。

### ハードドライブの問題

#### チェックディスクユーティリティを実行します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイ コンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカル ディスク (C:)** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** の項目で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

## 電子メール、モデム、およびインターネットの問題



**警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。



**メモ：**モデムはアナログ電話ジャックにのみ接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

**MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します** — 電子メールの添付ファイルを開くことができない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 Outlook Express で、**ツール** をクリックし、**オプション** をクリックします。次に、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **添付ファイルを許可しない** をクリックしてチェックマークを外します。

**電話回線ケーブルの接続を確認します** —

**電話プラグを確認します** —

**モデムを壁の電話ジャックに直接接続します** —

**別の電話回線ケーブルを使用します** —

- 電話回線ケーブルがモデムのジャックに接続されているか確認します（ジャックには緑色のラベルが付いているか、その隣にコネクタ形のアイコンが付いています）。
- モデムに電話回線ケーブルのコネクタを挿入したときにカチッという音がするか、またはその感触があるか確認します。
- モデムから電話回線ケーブルを外し、それを電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、スプリッタなどの、電話回線を共有する他の電話機器がある場合は、それらの機器を経由せずに、モデムを壁の電話ジャックに直接接続します。3 m 以上の電話回線ケーブルを使用している場合は、より短いものを使用してみます。


**MODEM HELPER 診断プログラムを実行します** — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を特定して解決します（Modem Helper は一部のコンピュータでは使用できません）。

### モデムが Windows と通信しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
- 4 **モデム** タブをクリックします。
- 5 モデムの COM ポートをクリックします。
- 6 **プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックし、**モデムの照会** をクリックして、モデムが Windows と通信しているか確認します。  
すべてコマンドに対して応答があった場合、モデムは正常に動作しています。

**インターネットに接続しているか確認します** — インターネットサービスプロバイダと契約していることを確認します。Outlook Express 電子メールプログラムを開き、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の隣にチェックマークが付いている場合は、そのチェックマークをクリックして外してから、インターネットに接続します。詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

## エラーメッセージ

 **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステム、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

**ファイル名には次の文字は使用できません** : \ / : \* ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

**必要な .DLL ファイルが見つかりません** — 開こうとしているプログラムに必須のファイルが見つかりません。次の操作を行い、プログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。次に、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除するプログラムを選択します。
- 3 **プログラムの変更と削除** アイコンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

**<ドライブ文字>:\にアクセスできません。デバイスの準備ができていません。** — ドライブがディスクを読めません。ディスクをドライブに挿入して、再度試してみます。

**起動可能なメディアを挿入** — 起動ディスクまたは起動 CD を挿入します。

**メモ**：このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。


**非システムディスクエラー** — フロッピーディスクをドライブから取り出し、コンピュータを再起動します。

**メモ**：このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。

**メモリまたはリソースが不足しています。開いているプログラムを閉じ、再試行してください。** — すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使用したいプログラムを実行します。

**オペレーティングシステムが見つかりません。** — デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。 —

## メディアカードリーダーの問題

 **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**ドライブ文字が割り当てられていません** —


Microsoft Windows XP がメディアカードリーダーを検知すると、システム内の他のすべての物理ドライブに続く次の論理ドライブとして、メディアカードリーダーにドライブ文字を自動的に割り当てます。物理ドライブに続く次の論理ドライブがネットワークドライブに割り当てられている場合、Windows XP はメディアカードリーダーにドライブ文字を自動的に割り当てません。

メディアカードリーダーに手でドライブ文字を割り当てるには、次の手順を実行します。

- 1 **マイコンピュータ** アイコンを右クリックし、**管理** を選択します。
- 2 **ディスクの管理** オプションを選択します。
- 3 右側のウィンドウで、変更する必要があるドライブ文字を右クリックします。
- 4 **ドライブ文字とパスの変更** をクリックします。
- 5 ドロップダウンリストから、メディアカードリーダーに割り当てる新しいドライブ文字を選択します。
- 6 **OK** をクリックして選択を確定します。

**メモ**：接続されているときのみ、メディアカードリーダーは割り当て済みのドライブとして表示されます。メディアがインストールされていない場合でも、4つのメディアカードリーダーロットはそれぞれドライブに割り当てられます。メディアが挿入されていないときにメディアカードリーダーにアクセスしようとする、メディアを挿入するように求められます。

## IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

デバイスおよびコンピュータのコネクタに IEEE 1394 デバイスのケーブルが適切に挿入されていることを確認します

IEEE 1394 デバイスが Windows によって認識されているか確認します —


- 1 スタート ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

お使いの IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合は、Windows がそのデバイスを認識します。

**DELL IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合** — デルにお問い合わせください (117 ページを参照)。

**デル以外の IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合** — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

## キーボードの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。


キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
- コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、キーボードケーブルを接続しな  
おします。
- ケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

**キーボードを確認します** — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、  
使用してみます。

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 57 ページ を参照してく  
ださい。

## コンピュータのフリーズおよびソフトウェアの問題


 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

### コンピュータが起動しない場合

**診断ライトを確認します** — 49 ページ を参照してください。

**電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します**

### コンピュータの反応が停止した場合

 **注意：**オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失するおそれがあります。


**コンピュータの電源を切ります** — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

### プログラムが応答しなくなった場合

**プログラムを終了します** —

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 応答しなくなったプログラムをクリックします。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

### プログラムが繰り返しクラッシュする場合

 **メモ：**通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

**ソフトウェアのマニュアルを確認します** — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

## プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティングシステム用に設計されている場合

### プログラム互換性ウィザードを実行します —

プログラム互換性ウィザードは、Windows XP 以外のオペレーティングシステムの環境に似た環境で動作するようにプログラムを設定します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→アクセサリ** の順にポイントしてから、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

## 画面が青色（ブルースクリーン）になった場合

**コンピュータの電源を切ります** — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

## その他のソフトウェアの問題

**トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせます —**


- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応しているか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアの実行に必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないことを確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

**すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します**

**アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます**

**開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします**

## メモリの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。


### メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（74 ページを参照）。
- メモリモジュールを抜き差しして（74 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（53 ページを参照）。

### その他のメモリの問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを抜き差しして（74 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（73 ページを参照）。
- お使いのコンピュータは DDR2 メモリに対応しています。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、「メモリ」（103 ページ）を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（53 ページを参照）。

## マウスの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**マウスをクリーニングします** — 116 ページ を参照してください。

### マウスケーブルを確認します —

- 1 ケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合は取り外し、マウスを直接コンピュータに接続します。
- 3 コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、マウスケーブルを接続しなおします。



### コンピュータを再起動します —

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**シャットダウン** または **電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源を切った後、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、マウスケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータを起動します。

**マウスを確認します** — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。


### マウスの設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を調整してみます。

**マウスドライバを再インストールします** — 56 ページ を参照してください。

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 57 ページ を参照してください。

## ネットワークの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**ネットワークケーブルコネクタを確認します** — ネットワークケーブルが、コンピュータ背面のネットワークコネクタとネットワークジャックの両方にしっかりと挿入されているか確認します。


**コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します** — リンク保全ライトが消灯している場合は、ネットワーク通信が行われていません。この場合は、ネットワークケーブルを交換します。ネットワークインジケータの説明については、「ボタンとライト」（106 ページ）を参照してください。

**コンピュータを再起動して、ネットワークに再度ログオンします**

**ネットワークの設定を確認します** — ネットワーク管理者またはネットワーク構築者に連絡して、ネットワークの設定が正しいか、またはネットワークが正常に機能しているか確認します。

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 57 ページ を参照してください。

## 電源の問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**電源ライトが緑色で、コンピュータが応答しない場合** — 「診断ライト」（49 ページ）を参照してください。

**電源ライトが緑色に点滅している場合** — コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押すか、マウスを動かすか、電源ボタンを押して、通常の動作状態に戻します。

**電源ライトが消灯している場合** — コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどを使用している場合は、それらを取り外してコンピュータの電源が適切に入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。
- 主電源ケーブルおよび正面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（72 ページを参照）。

**電源ライトが橙色に点灯している場合** — デバイスが誤動作しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（72 ページを参照）。
- メモリモジュールを取り外してから装着しなおします（74 ページを参照）。
- すべてのカードを取り外してから装着しなおします（77 ページを参照）。
- グラフィックカードを取り付けている場合は取り外してから装着しなおします（80 ページを参照）。

**電源ライトが橙色に点滅している場合** — コンピュータに電源は供給されていますが、コンピュータ内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- コンピュータを使用している地域の AC 電源の電圧と一致するように、電圧選択スイッチを設定しているか確認します（該当する場合のみ）。
- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（72 ページを参照）。

**電波障害を除去します** — 電波障害の原因には、以下のものが考えられます。

- 電源、キーボード、およびマウス延長ケーブルが使用されている
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

## プリンタの問題



**警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。



**メモ：**プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**プリンタのマニュアルを確認します** — セットアップとトラブルシューティングについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

**プリンタの電源がオンになっていることを確認します**

**プリンタケーブルの接続を確認します** —

- ケーブルの接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（13 ページを参照）。


**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。


**プリンタが Windows によって認識されていることを確認します** —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。  
お使いのプリンタが一覧に表示されている場合、プリンタアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックし、**ポート** タブをクリックします。USB プリンタの場合は、**印刷先のポート** が **USB** に設定されていることを確認します。

**プリンタドライバを再インストールします** — 手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

## スキャナーの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **メモ：**スキャナーのテクニカルサポートが必要な場合は、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

**スキャナーのマニュアルを確認します** — セットアップとトラブルシューティングについては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

**スキャナーをアンロックします** — スキャナーにロックタブまたはボタンがある場合は、スキャナーがアンロックされているか確認します。

**コンピュータを再起動し、スキャナーを再度試してみます**

**ケーブルの接続を確認します** —

- ケーブルの接続については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

**スキャナーが MICROSOFT WINDOWS によって認識されていることを確認します** —


1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

2 **スキャナとカメラ** をクリックします。


お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows がそのスキャナーを認識しています。

**スキャナドライバを再インストールします** — 手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

## サウンドとスピーカーの問題

 **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

### スピーカーから音がしない場合

 **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量調節より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いている場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

**スピーカーケーブルの接続を確認します** — スピーカーに付属のセットアップ図に示されているように、スピーカーが接続されていることを確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されていることを確認します。

**サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します** — スピーカーに付属のセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合は、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

**Windows の音量を調整します** — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないことを確認します。

**ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します** — コンピュータの正面パネルにあるヘッドホンコネクタにヘッドホンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。

**電気的な妨害を除去します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切り、干渉を調べます。

スピーカーの診断プログラムを実行します — 詳細については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

サウンドドライバを再インストールします — 56 ページ を参照してください。


ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 57 ページ を参照してください。


## ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（65 ページを参照）。

WINDOWS の音量を調整します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないことを確認します。

## ビデオとモニターの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **メモ：**トラブルシューティングについては、モニターのマニュアルを参照してください。

## 画面に何も表示されない場合

モニターのケーブル接続を確認します —

- グラフィックケーブルが、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように接続されていることを確認します。
- グラフィック延長ケーブルを使用していて、その延長ケーブルを取り外すことによって問題が解決する場合は、ケーブルの不良です。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。
- コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します（モニターのケーブルコネクタは、通常いくつかのピンが欠けています）。

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターに電源が入っていることを確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合は、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。

**診断ライトを確認します** — 49 ページ を参照してください。

## 画面が見づらい場合

**モニターの設定を確認します** — モニターのコントラストと輝度の調整、消磁、セルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

**サブウーハーをモニターから離します** — スピーカーシステムにサブウーハーが含まれている場合は、サブウーハーがモニターから 60 cm 以上離れていることを確認します。

**外部電源をモニターから離します** — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンライト、およびその他の電化製品によって画面が「ぶれる」ことがあります。近くのデバイスの電源を切って干渉を調べます。

**モニターの向きを変えて画面への太陽光の映りこみや電磁障害を除去します**

**WINDOWS のディスプレイ設定を調整します** —


- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックし、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** および **画面の色** を別の設定にしてみます。





# トラブルシューティングツール

## 診断ライト

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

問題のトラブルシューティングを容易にするため、コンピュータの正面パネルに「1」、「2」、「3」、および「4」とラベルのついた4つのライトがあります（65ページを参照）。コンピュータが正常に起動している場合は、ライトが点滅します。コンピュータが誤作動している場合は、ライトの色と配列で問題を判別できます。POSTが完了したら、オペレーティングシステムが起動する前に4つのライトはすべて消灯します。


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
   	コンピュータが通常の「オフ」の状態、または BIOS 前に障害が発生した可能性があります。	正常なコンセントにコンピュータを接続し、電源ボタンを押します。
   	プロセッサに障害が発生した可能性があります。	デルにお問い合わせください（117ページを参照）。
   	メモリモジュールが検出されましたが、メモリ障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り付けているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外してモジュールの1つを取り付けなおし（74ページを参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。</li> <li>同じ種類で動作確認済みのメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（73ページを参照）。</li> <li>問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（117ページを参照）。</li> </ul>

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
① ② ③ ④	グラフィックカードに障害が発生している可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピュータにグラフィックカードを取り付けている場合は、そのカードをいったん取り外してから取り付けなおし（77 ページを参照）、コンピュータを再起動します。</li> <li>• 問題が解決しない場合は、動作確認済みの別のグラフィックカードを取り付け、コンピュータを再起動します。</li> <li>• それでも問題が解決しないか、コンピュータにオンボードグラフィックがある場合は、デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。</li> </ul>
① ② ③ ④	フロッピードライブまたはハードドライブに障害が発生している可能性があります。	すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。
① ② ③ ④	USB に問題が発生した可能性があります。	すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。
① ② ③ ④	メモリモジュールが検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取り付けているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、モジュールを取り外してモジュールの 1 つを取り付けなおし（74 ページを参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。</li> <li>• 同じ種類で動作確認済みのメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（73 ページを参照）。</li> <li>• 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。</li> </ul>

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
①②③④	メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特別なメモリモジュール/メモリコネクタ設置要件がないことを確認します (73 ページを参照)。</li> <li>• 取り付けるメモリモジュールにコンピュータとの互換性があることを確認します (73 ページを参照してください)。</li> <li>• 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (117 ページを参照)。</li> </ul>
①②③④	拡張カードに問題が発生した可能性があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グラフィックカード以外のカードを 1 つ取り外し (77 ページを参照)、コンピュータを再起動して、コンフリクトが起きているかどうかを調べます。</li> <li>2 問題が解決しない場合は、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。</li> <li>3 それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合は、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングを行います (57 ページを参照)。</li> <li>4 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (117 ページを参照)。</li> </ol>
①②③④	システムは Quick Resume (クイックレジューム) モードで動作しています。詳細については、「Intel® ViiV™ Quick Resume Technology (オプション) の使い方」(27 ページ) を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源ボタンを押す</li> <li>• マウスを動かす</li> <li>• キーボードのいずれかのキーを押す</li> <li>• MCE リモートコントロール (オプション) の任意のキーを押す</li> </ul>

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
① ② ③ ④	別の障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブのケーブルがシステム基板に正しく接続されているかどうかを確認します（72 ページを参照）。</li> <li>デバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）のエラーメッセージが画面に表示されている場合は、そのデバイスが正常に機能しているかどうかを確認します。</li> <li>オペレーティングシステムがデバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）からの起動を試みています。セットアップユーティリティを使って、コンピュータに取り付けられているデバイスの起動順序が適切かどうかを確認してください（107 ページを参照）。</li> <li>問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。</li> </ul>
① ② ③ ④	<p>POST 後、コンピュータは通常の動作状態にあります。</p> <p><b>メモ：</b> POST が終了して Windows が起動する前に、4 つの診断ライトはすべて消灯します。</p>	なし。

# Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」（31 ページ）のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

 **注意：** Dell Diagnostics（診断）プログラムは Dell™ コンピュータでのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして（63 ページを参照）、操作をやり直してください。

- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition**（ユーティリティパーティションから起動）をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu**（メインメニュー）が表示されたら、実行するテストを選びます（53 ページを参照）。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）

- 1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu**（メインメニュー）画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test （エクスプレステスト）	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に <b>Express Test</b> （エクスプレステスト）を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test （拡張テスト）	デバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、時々表示される質問に回答が必要です。
Custom Test （カスタムテスト）	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree （症状ツリー）	最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択できます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

エラーを解決できない場合は、デルにお問い合わせください（117 ページを参照）。



**メモ：**お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、テクニカルサポート担当者がお客様のサービスタグをお尋ねします。

- 3 **Custom Test**（カスタムテスト）または **Symptom Tree**（症状ツリー）オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照してください）。

タブ	機能
Results（結果）	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors(エラー)	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help（ヘルプ）	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration（構成）	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 <b>Dell Diagnostics</b> （診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手して、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters （パラメータ）	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テスト画面を閉じて、**Main Menu**（メインメニュー）画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu**（メインメニュー）画面を閉じます。

# ドライバ

## ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、またはキーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合にドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新規デバイスの接続またはインストール。

デバイスで問題が発生した場合、ドライバが問題の原因でないかどうかを識別して、必要に応じてドライバをアップデートします。

## Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（ [!] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（56 ページを参照）。

## ドライバの再インストール

- ➡ **注意：**デルサポートサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しないおそれがあります。

### Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

ドライバをインストールまたはアップデートした後でコンピュータに問題が発生した場合は、Windows XP デバイスドライバのロールバックを使ってドライバを以前のバージョンに戻します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合は、システムの復元を使って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムに戻します。

### ドライバの手動再インストール

- 1 ハードドライブにドライバファイルをコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 ドライバをインストールするデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックし、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックし、ドライバファイルを前回解凍した場所を探して選択します。
- 9 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。



## ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されたが正しく設定されていない場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決できます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決するには、以下の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** 領域で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** と入力し、矢印をクリックして検索を開始します。
- 3 **検索結果** 一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。

## オペレーティングシステムの復元


次のような方法でオペレーティングシステムを復元できます。

- Microsoft Windows XP システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。
- Dell PC Restore by Symantec は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。Dell PC Restore は、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。

 **メモ**：Dell PC Restore は、特定の地域で購入したコンピュータでのみ使用できます。

### Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプにアクセスするには、11 ページを参照してください。

 **注意**：データファイルのバックアップを定期的作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

 **メモ**：本書に記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用にかかれていたため、クラシック表示に設定している場合には適用されません。

## 復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

## コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバのインストール後に問題が発生する場合は、デバイスドライバのロールバック（56 ページを参照）を使って問題を解決します。それでも問題を解決できない場合に、システムの復元を使用します。

➡ **注意：**コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。


- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→**アクセサリ**→**システムツール**の順にポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

**復元ポイントの選択** 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

- 4 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。  
日付に復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選ばれます。複数の復元ポイントが利用できる場合は、希望する復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。  
システムの復元がデータの収集を完了した後、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータは再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

## 以前のシステムの復元の取り消し

 **注意**：以前のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→**アクセサリ**→**システムツール**の順にポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。


## システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 未満のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。

**すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** のチェックマークが外されているか確認します。

## Dell PC Restore by Symantec の使い方



 **メモ**：Dell PC Restore は、特定の地域で購入したコンピュータでのみ使用できます。

Dell PC Restore by Symantec は、オペレーティングシステムを復元する最後の手段としてのみ使用してください。Dell PC Restore by Symantec は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。コンピュータ購入後に追加したプログラムやファイルを始め、データファイルもハードドライブから完全に削除されます。データファイルとは、ワープロソフトの文書、表計算ソフトのワークシート、電子メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなどです。できる限り、Dell PC Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。


 **注意**：Dell PC Restore では、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。できる限り、Dell PC Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

Dell PC Restore を使用するには、以下の手順を実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。  
起動プロセスの間、**www.dell.com/jp** と書かれた青いバーが画面の上部に表示されます。
- 2 この青いバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。  
<Ctrl><F11> を押すタイミングがずれると、コンピュータは再起動を完了し、もう一度、再起動されます。



-  **注意**：Dell PC Restore を続行しない場合は、次の手順で **Reboot**（再起動）をクリックします。
- 3 表示された次の画面で、**Restore**（復元）をクリックします。
  - 4 次の画面で、**Confirm**（確認）をクリックします。  
復元プロセスの完了には 6 ～ 10 分ぐらいかかります。
  - 5 プロンプトが表示されたら、**Finish**（終了）をクリックしてコンピュータを再起動します。
-  **メモ**：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**Finish**（終了）をクリックすると、コンピュータが完全に再起動されます。
- 6 プロンプトが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。  
コンピュータが再起動されます。コンピュータが元の動作状態に戻るため、表示される画面、たとえばエンドユーザーライセンス契約の画面などは、コンピュータの電源を初めて入れたときと同じものです。
  - 7 **次へ** をクリックします。  
**システムの復元** 画面が表示されて、コンピュータが再起動します。
  - 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

## Dell PC Restore の削除

-  **注意：** Dell PC Restore をハードドライブから削除すると、PC Restore ユーティリティはコンピュータから完全に削除されます。Dell PC Restore を削除してしまうと、このユーティリティを使用してお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできなくなります。

Dell PC Restore を使用すると、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻すことができます。ハードドライブの空き容量を増やしたい場合でも、PC Restore をコンピュータから削除することはお勧めできません。PC Restore をハードドライブから削除してしまうと取り消しが利かず、PC Restore を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを元の状態に戻すことはできなくなります。

PC Restore を削除するには、以下の手順を実行します。

- 1 ローカル管理者としてコンピュータにログオンします。
- 2 Windows エクスプローラで **c:\dell\utilities\DSR** に移動します。
- 3 ファイル名 **DSRIRRemv2.exe** をダブルクリックします。
  -  **メモ：** ローカル管理者としてログオンしていない場合は、管理者としてログオンする必要があることを示すメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてから、ローカル管理者としてログオンします。
  -  **メモ：** PC Restore のパーティションがコンピュータのハードドライブにない場合は、パーティションが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてください。削除するパーティションはありません。
- 4 **OK** をクリックして、ハードドライブ上の PC Restore パーティションを削除します。
- 5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes** (はい) をクリックします。

PC Restore パーティションは削除され、新たに利用可能となった容量がハードドライブの空き領域に追加されます。
- 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク (C)** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。**空き領域** の数値が増えていることで、利用できるディスク容量が増加していることを確認します。
- 7 **Finish** (完了) をクリックして **PC Restore Removal** (PC Restore の削除) ウィンドウを閉じます。
- 8 コンピュータを再起動します。



# 部品の取り外しと取り付け

## 作業を開始する前に

ここでは、お使いのコンピュータの部品の取り外しと取り付けの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」（63 ページ）および「コンピュータ内部の作業を始める前に」（64 ページ）の手順をすでに完了していること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- 取り外しの手順を逆の順序で実行することで部品の取り付けができること。

## 推奨する工具とツール

本書で説明する操作には、以下のようなツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバ
- プラスドライバ

## コンピュータの電源を切る





**注意：**データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、コンピュータの電源を切ります。


- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンするには、次の手順を実行します。
  - a 開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
  - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。  
オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。


## コンピュータ内部の作業を始める前に


身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意事項に従ってください。

 **警告：**『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の手順を開始してください。


 **警告：**部品やカードは丁寧に取り扱いってください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサチップなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

 **注意：**コンピュータの修理は、認可されたサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

 **注意：**ケーブルを外す際は、ケーブルそのものを引っ張らずに、コネクタやストレインリリーフループをつかんで抜いてください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。


 **注意：**コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 コンピュータの電源を切ります（63 ページを参照）。


 **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 電話ケーブルやネットワークケーブルをコンピュータから取り外します。

3 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。


4 コンピュータカバーを取り外します（69 ページを参照）。

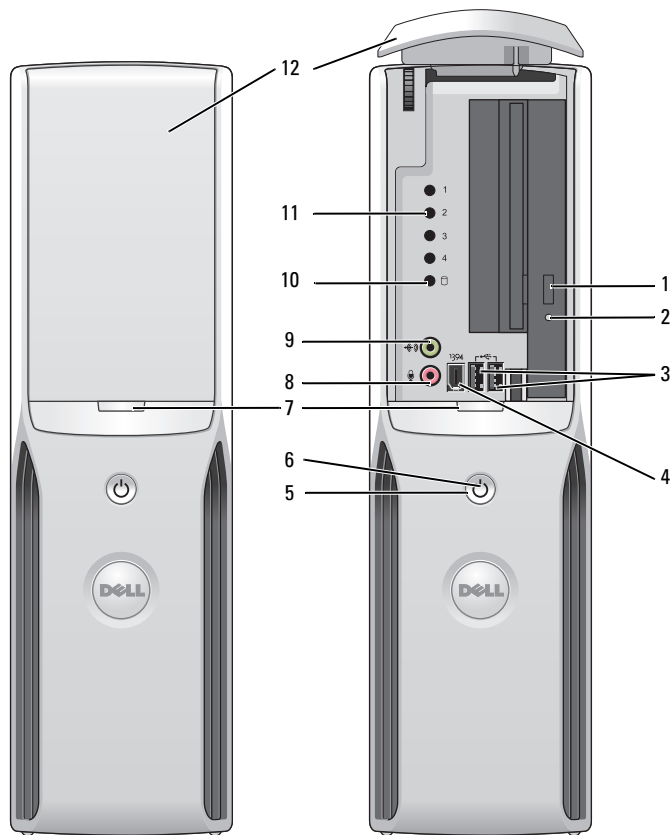
 **注意：**コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を逃がしてください。



# コンピュータの正面および背面

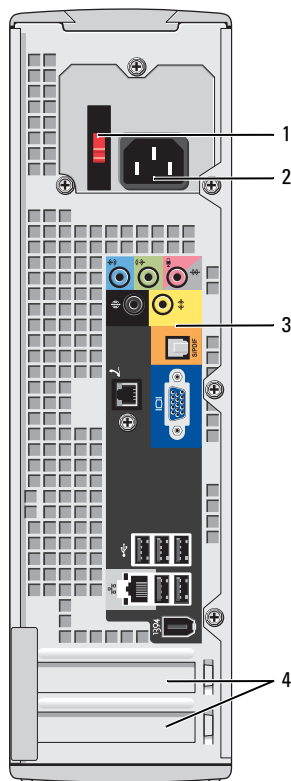
## 正面

 **メモ**：特定のフラッシュメディアや IEEE 1394、USB、またはヘッドフォンコネクタを使用している場合、正面パネルドアは閉まりません。

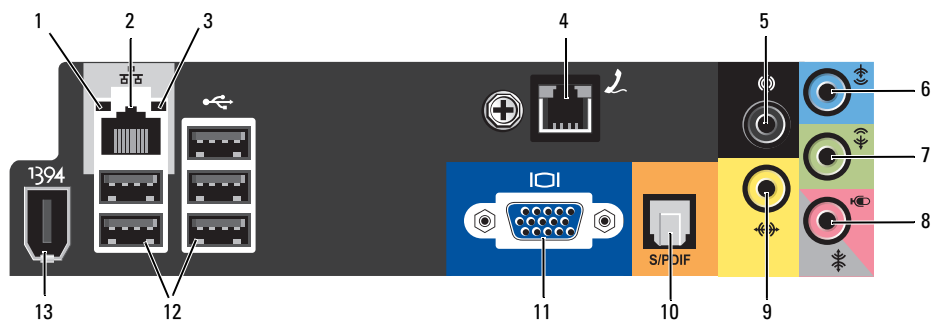


1	CD/DVD ドライブ取り出しボタン	このボタンを押すと、CD または DVD をドライブから取り出せます。
2	CD または DVD ドライブ動作ライト	ドライブアクティビティライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
3	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラなどの時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用します (USB デバイスの起動についての詳細は、「セットアップユーティリティ」(107 ページ) を参照してください)。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
4	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなど、高速シリアルマルチメディアデバイスを接続します。外部ハードドライブやその他のストレージデバイスなど、通常接続したままのデバイスには、背面の IEEE 1394 コネクタを使用することをお勧めします。
5	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。  <b>注意：</b> データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押さずに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
6	電源ライト	電源ライトは、点滅と点灯とで異なる状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>点灯しない — コンピュータの電源は切れています。</li><li>緑色の点灯 — コンピュータは通常の動作状態です。</li><li>緑色の点滅 — コンピュータは省電力状態です。</li><li>点滅または黄色色の点灯 — 「電源の問題」(42 ページ) を参照してください。</li></ul>
7	正面パネルドアリリースボタン	このボタンを押して正面パネルコネクタを使用します。
8	マイクコネクタ	桃色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのマイクコネクタを使用します。
9	ヘッドフォンコネクタ	緑色のヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとんどの種類のスピーカーを接続できます。
10	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブ動作ライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み取るか、またはハードドライブにデータを書き込む際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスの動作中にも点灯することがあります。
11	診断ライト	それぞれの診断ライトの意味の詳細については、「診断ライト」(49 ページ) を参照してください。
12	正面パネルドア	このパネルは、CD または DVD ドライブ、メディアカードリーダー、およびオプションのフロッピードライブを保護します。

## コンピュータの背面




1	電圧切り替えスイッチ（使用できないコンピュータもあります）	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
3	背面パネルコネクタ	IEEE 1394、USB、およびその他のデバイスのプラグを対応するコネクタに差し込みます。
4	カードスロット	インストール済みの PCI Express カードのコネクタに接続します。



<p>1 リンク健全ライト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑色 — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。</li> <li>• 橙色 — 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。</li> <li>• 消灯 — ネットワークとの物理的な接続が検知されていません。</li> </ul>
<p>2 ネットワークアダプタコネクタ</p>	<p>コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに接続するには、ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端は、コンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッという音がすれば、ネットワークケーブルはしっかり接続されています。</p> <p><b>メモ：</b> ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでください。</p> <p>ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。</p> <p>ネットワークには、カテゴリ 5 の配線とコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオペレーションを保証するために、ネットワーク速度を 10 Mbps に設定してください。</p>
<p>3 ネットワーク動作ライト</p>	<p>黄色のライトは、コンピュータがネットワークデータを送信、または受信している際に点滅します。ネットワークトラフィックが多い場合、このライトが「点灯」の状態に見えることがあります。</p>
<p>4 モデムコネクタ</p>	<p>モデムコネクタを使用して、コンピュータをインターネットに接続します。</p>
<p>5 サラウンドサウンドコネクタ</p>	<p>黒いサラウンドサウンドコネクタを使用して、マルチチャンネル対応スピーカーを接続します。</p>
<p>6 ライン入力コネクタ</p>	<p>青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。</p> <p>サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。</p>

7	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。
8	マイク/サイドサウンドコネクタ	桃色および銀色のコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのマイクコネクタを使用します。
9	センター/LFE コネクタ	80 Hz 以下の低周波数情報のみを搬送するデジタルサウンドオーディオ方式で使用される LFE（低周波数効果）オーディオチャンネル。LFE チャンネルでは、超低音を引き伸ばすサブウーハーが使用されます。サブウーハーを使用しないシステムでは、LFE 情報をサウンド設定のメインスピーカーに分流できます。
10	S/PDIF コネクタ	このコネクタは、アナログオーディオ変換処理を行わずにデジタルオーディオを伝送する場合に使用します。
11	VGA コネクタ	お使いのモニターに VGA コネクタがある場合は、そのコネクタをコンピュータの VGA コネクタに差し込みます。
12	USB 2.0 コネクタ (5)	プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
13	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなど、高速シリアルマルチメディアデバイスを接続します。

## コンピュータカバーの取り外し


 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします（63 ページを参照）。
- 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、ここでそれらの電源を切ります。

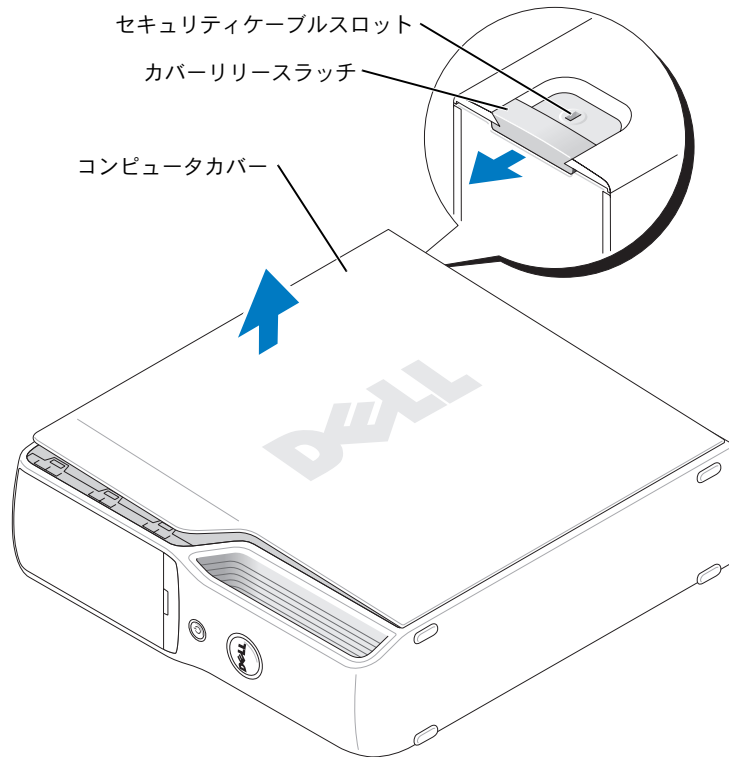


**注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話回線や通信回線をコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと接続されているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。


 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。


- ➡ **注意：**カバーを開いて作業できるように、高さ 30 cm 以上の十分なスペースが作業台上にあることを確認してください。
  - ➡ **注意：**コンピュータまたはコンピュータが載っている表面を傷つけないように、保護された水平な表面で作業するようにしてください。
- 5 コンピュータカバーの面が上になるようにコンピュータを置きます。
  - 6 上部のパネルにあるカバーラッチリリースを引っ張ります。

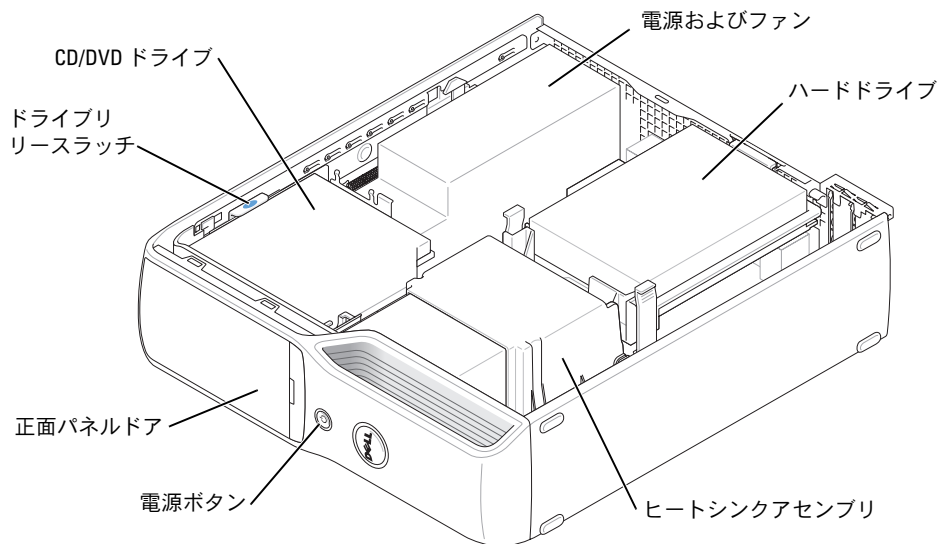


- 7 コンピュータ下端の 2 つのヒンジタブを探します。
- 8 コンピュータカバーの側面をつかみ、下部ヒンジをてこの支点にしてカバーを上回転します。
- 9 ヒンジタブからカバーを外し、安全な場所に保管します。

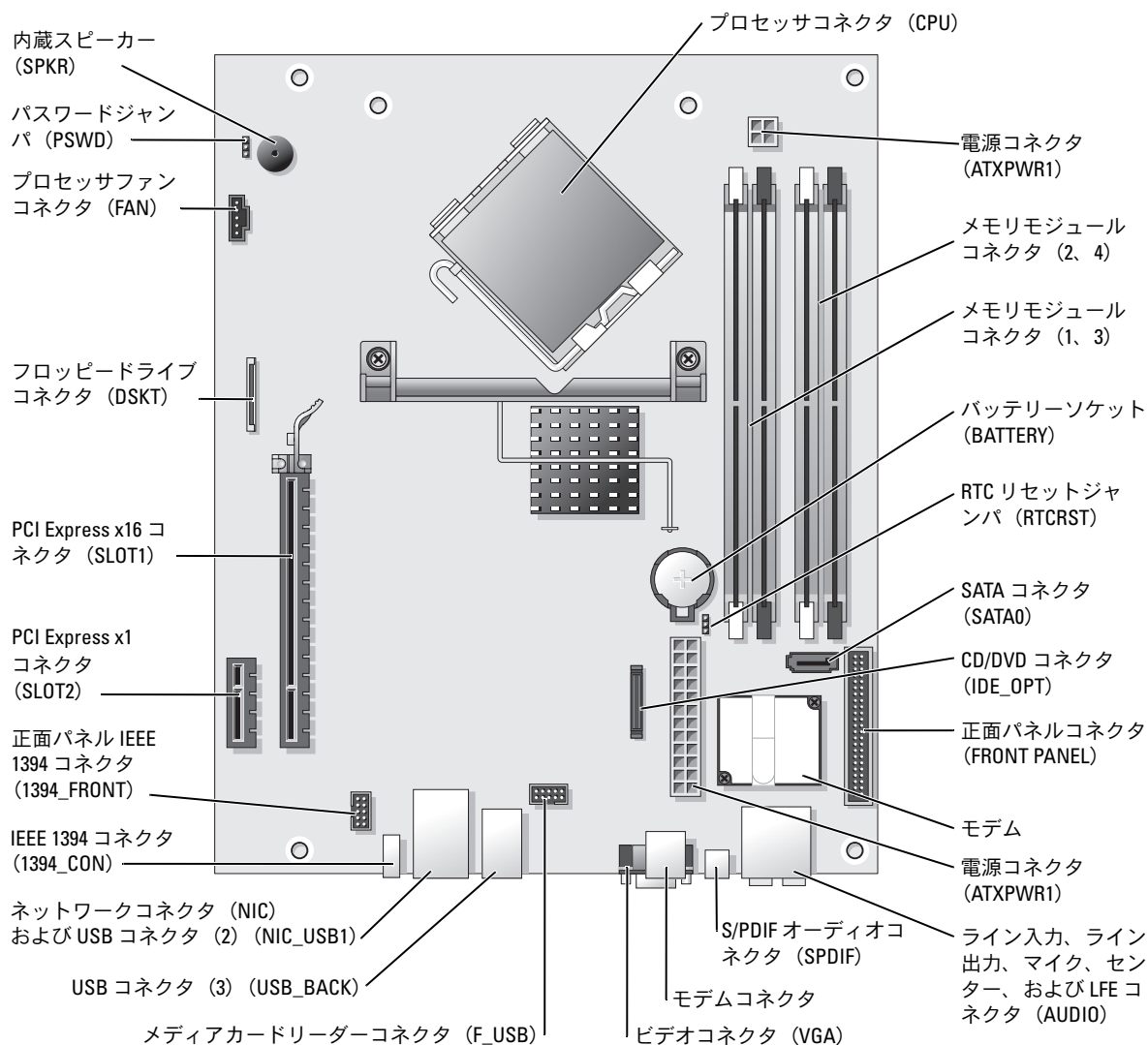
## コンピュータの内部

 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。



# システム基板のコンポーネント






# メモリ

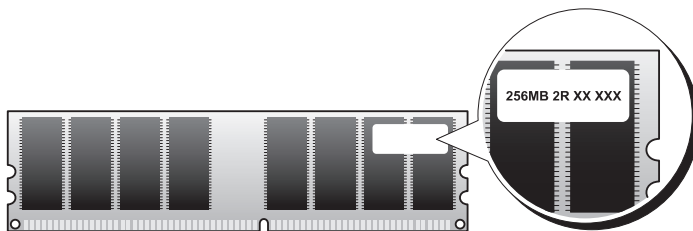
システム基板にメモリモジュールを取り付けることで、コンピュータメモリを増やすことができます。


お使いのコンピュータは、アンバッファ、非 ECC、DDR2 メモリに対応しています。

 **メモ**：このコンピュータではバッファメモリはサポートされていません。


## DDR2 メモリの概要

DDR2 メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズ、速度、およびテクノロジーのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。DDR2 メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、パフォーマンスがやや低下します。モジュールの容量を判断するには、モジュールに付いているラベルを確認してください。

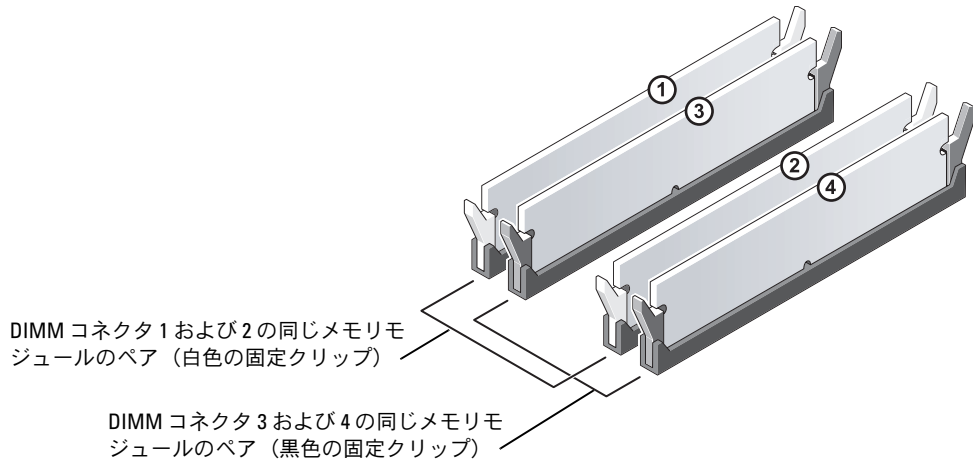



 **メモ**：必ずシステム基板に示される順序で DDR2 メモリモジュールを取り付けてください。推奨されるメモリ構成は次のとおりです。


- DIMM コネクタ 1 および 2 に装着した同じメモリモジュールのペア（白色の固定クリップ）  
または
- DIMM コネクタ 1 と 2 に装着した同じメモリモジュールの 1 組のペア、および DIMM コネクタ 3 と 4 に装着したもう 1 組のペア（黒色の固定クリップ）

 **注意**：ECC メモリモジュールは取り付けないでください。

- DDR2 400-MHz（PC2-3200）と DDR2 533-MHz（PC2-4300）のメモリモジュールのペアを組み合わせで装着した場合、装着したモジュールのうち一番遅いスピードで動作します。
- 別のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、プロセッサに最も近いコネクタの DIMM コネクタ 1 に単一のメモリモジュールを装着していることを確認してください。




 **メモ**：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象になっています。


 **注意**：新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになった場合でも、メモリのアップグレード中にコンピュータから取り外した元のメモリは、新しいメモリとは別に保管してください。できれば、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールはペアにしないでください。ペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。元のメモリモジュールは、DIMM コネクタ 1 と 2、または DIMM コネクタ 3 と 4 のいずれかにペアで装着する必要があります。

#### 4 GB 構成でのメモリアドレッシング

2 GB DIMM を 2 つ使用する場合には、お使いのコンピュータで最大 4 GB のメモリまで対応します。Microsoft® Windows® XP など、最新のオペレーティングシステムでは、アドレス空間を最大で 4 GB までご使用いただけます。ただし、オペレーティングシステムで利用可能なメモリ容量は、4 GB 未満です。コンピュータ内の一部の部品は、4 GB の範囲のアドレス空間を必要とします。このような部品に確保されるアドレス空間は、コンピュータメモリが使用することはできません。

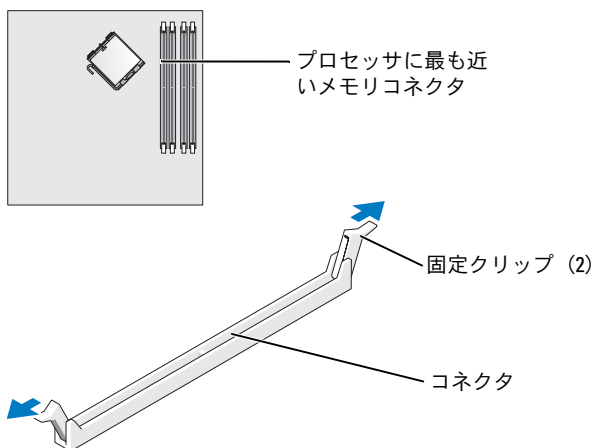
#### メモリの取り付け

 **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

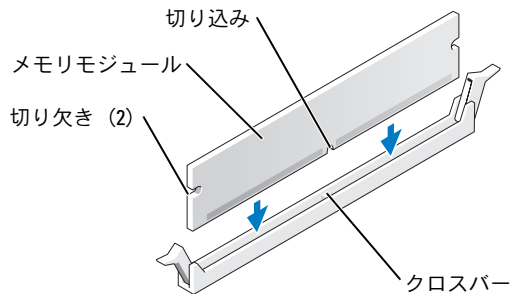
 **注意**：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 CD/DVD ドライブを取り外します（86 ページを参照）。

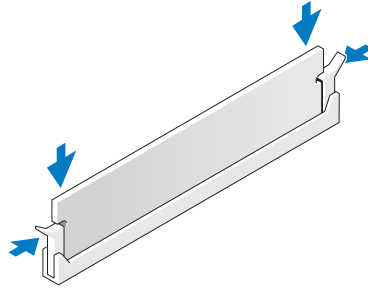
- 3 オプションのメディアカードリーダー、またはオプションのフロッピードライブが取り付けられている場合は、それらを取り外します（90 ページ または 93 ページ を参照）。
- 4 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。



- 5 メモリモジュールの底部にある切り込みと、コネクタのクロスバーを合わせます。



- ➡ **注意：**メモリモジュールの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力をかけてコネクタにまっすぐ差し込んでください。
- 6 メモリモジュールを、カチッと所定の位置に収まるまでしっかりと押し込みます。モジュールを正しく挿入すると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まります。



- 7 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 8 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 9 **マイコンピュータ** アイコンを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
- 10 **全般** タブをクリックします。
- 11 メモリが正しく取り付けられていることを確認するには、記載されているメモリ容量（RAM）を確認します。

## メモリの取り外し

**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

➡ **注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。
- 3 モジュールをつかんで引き上げます。

モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に慎重に動かして緩め、コネクタから取り外します。

## カード

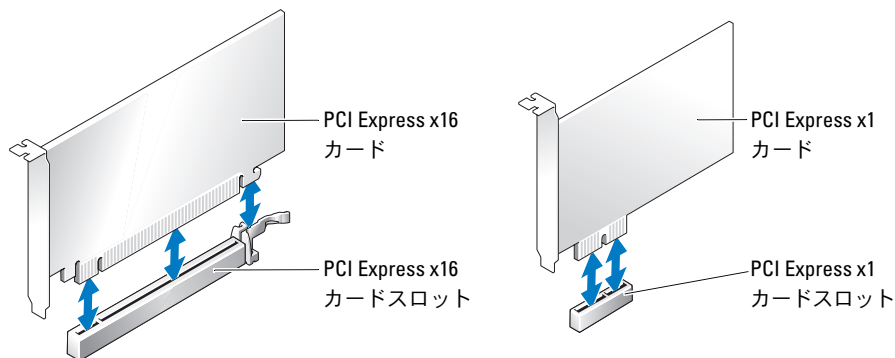
**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**➡ 注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

お使いの Dell™ コンピュータには、PCI Express カード用の以下のスロットが用意されています。

- PCI Express x16 カードスロット x1
- PCI Express x1 カードスロット x1

**📎 メモ：**PCI Express x16 および PCI Express x1 カードのスロットは、ハーフハイトのスロットです。

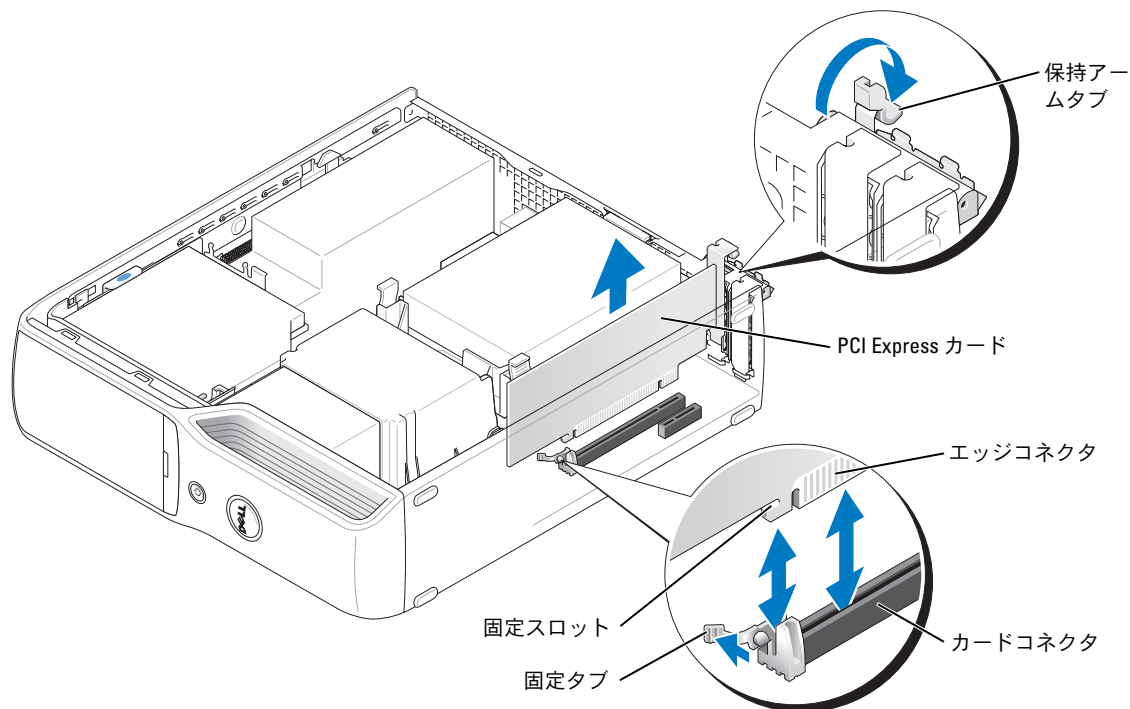


PCI Express カードの取り付けや交換を行う場合には、次の項の手順に従います。カードの交換ではなく取り外しを行う場合は、「PCI Express カードの取り外し」（80 ページ）を参照してください。

カードを交換する場合は、現在使用しているカードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

## PCI Express カードの取り付け

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 カード保持ドアのリリースタブを内側から静かに押し、ドアを回転して開きます。ドアは取り付けられているため、開いた位置のままになります。

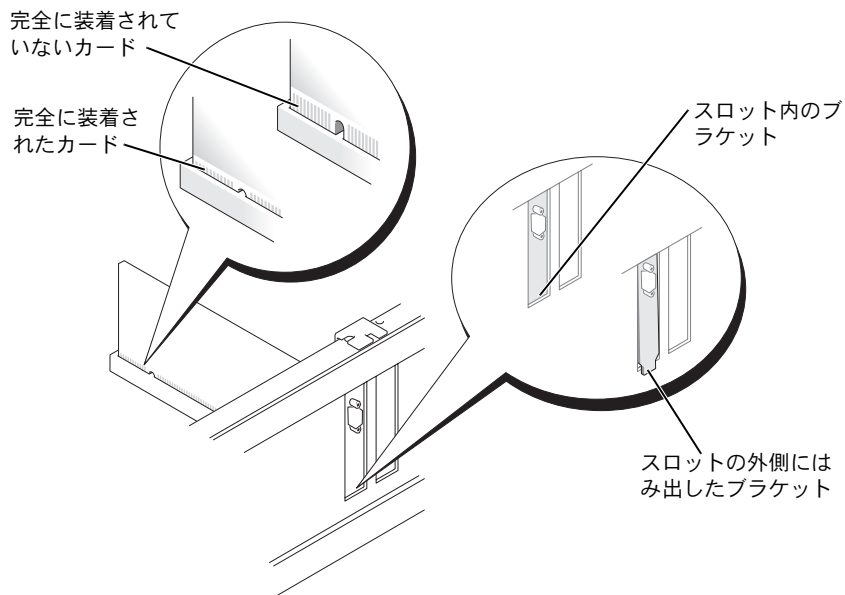


- 3 新しいカードを取り付ける場合は、フィラーブラケットを取り外して、カードスロット開口部を作ります。次に手順 5 に進みます。
- 4 コンピュータに取り付けられたカードを交換する場合は、カードを取り外します。  
必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
- 5 カードを取り付ける準備をします。  
カードの構成、内部接続、またはお使いのコンピュータに合わせてカスタマイズする方法については、カードに付属のマニュアルを参照してください。



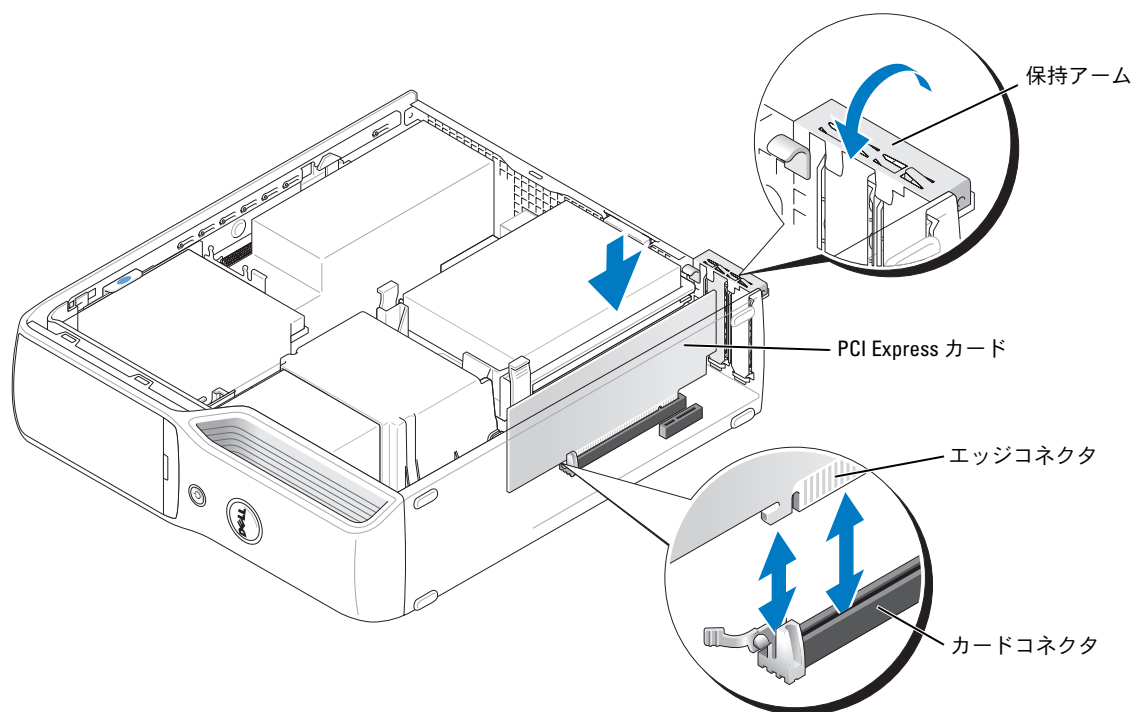
**警告：**ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

- 6 カードをコネクタに置き、しっかりと押し下げます。カードがスロットにしっかりと装着されていることを確認します。
- 7 x16 カードコネクタにカードを取り付ける場合は、固定スロットが固定タブに合うようにしてカードを置き、固定タブを軽く引っ張ります。
- 8 カードをコネクタに置き、しっかりと押し下げます。カードが完全に装着されていることを確認します。



- 9 カード保持ドアを閉じる前に、次のことを確認します。
  - すべてのカードとフィラーブラケットの上端が、位置合わせバーと揃っている。
  - カードまたはフィラーブラケット上端の切り込みが、位置合わせガイドとかみ合っている。

- 10 カチッと音がする位置までカードを挿入し、カード保持ドアを閉じます。



➡ **注意：**カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。カードの上を通してケーブルを配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなかったり、装置が損傷する原因になります。

- 11 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。


- 12 コンピュータカバーを取り付け（101 ページ を参照）、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

- 13 カードのマニュアルに記載されている、カードに必要なドライバをインストールします。

### PCI Express カードの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
- 3 固定タブを軽く引っ張り、カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。

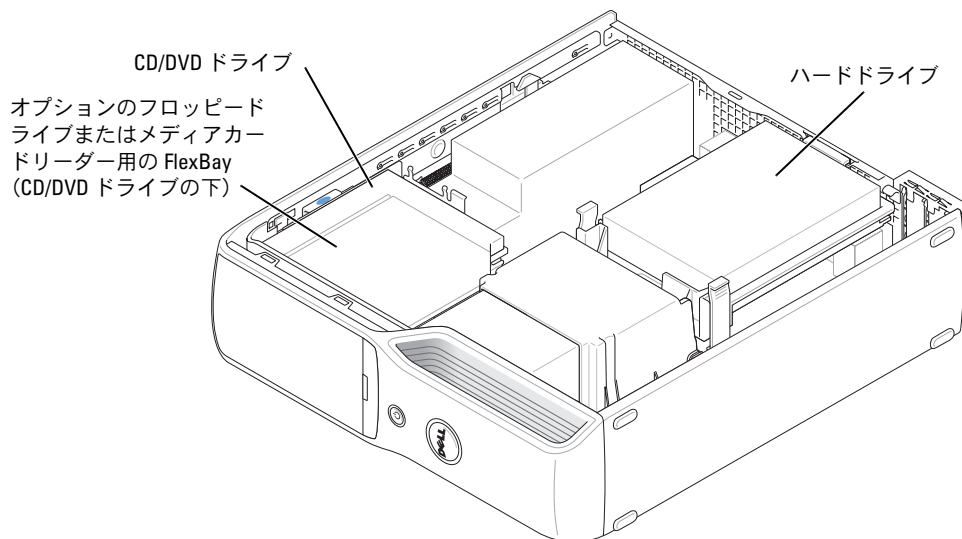


- 4 カードを取り外したままにする場合は、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。
-  **メモ**：コンピュータの FCC 認証を満たすには、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。
- 5 コンピュータカバーを取り付け（101 ページ を参照）、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 6 カードのドライバをアンインストールします。

## ドライブ

このコンピュータでは、次のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- シリアル ATA ドライブ 1 台
- FlexBay ドライブ 1 台（オプションのフロッピードライブまたはメディアカードリーダー）
- CD または DVD ドライブ 1 台



システム基板上の「IDE\_OPT」とラベルの付いたコネクタに CD または DVD ドライブを接続します。シリアル ATA ハードドライブを、システム基板上の「SATA0」とラベルの付いたコネクタに接続します。

## ドライブケーブルの接続

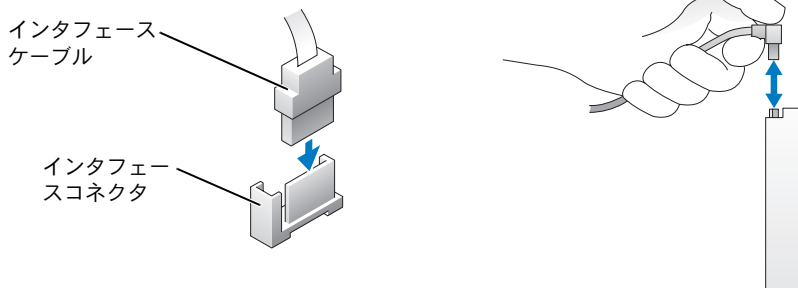
ドライブを取り付ける場合は、2本のケーブル（DC電源ケーブルとデータケーブル）、または1本のインタフェースケーブルをドライブの背面およびシステム基板に接続します。

## ドライブインタフェースコネクタ

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。シリアル ATA ケーブルはコネクタの1番ピン側に接続します。通常、基板上またはカード上にあるコネクタの1番ピン側には、基板またはカードに直接「1」と印字されています。

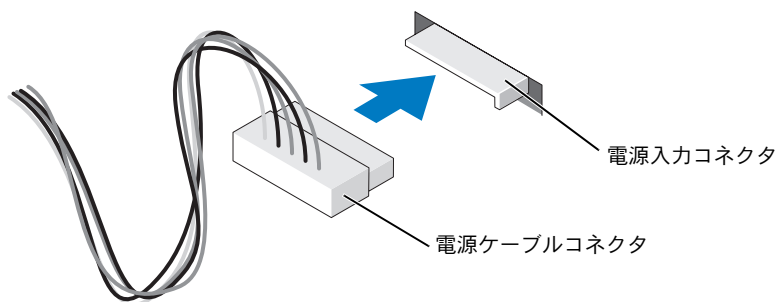
- ➡ **注意：**IDE インタフェースケーブルを接続するときには、必ず色帯をコネクタの1番ピンに合わせてください。インタフェースケーブルを裏返しにするとドライブが動作しなかったり、コントローラやドライブ、またはその両方を損傷するおそれがあります。

### シリアル ATA コネクタ



## 電源ケーブルコネクタ

電源ケーブルを使用してドライブを接続するには、システム基盤で電源入力コネクタを探します。

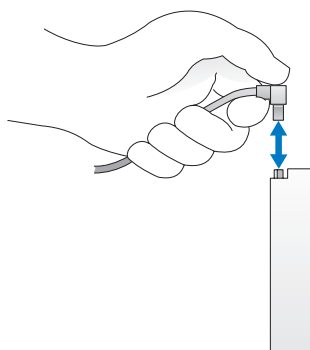


## ドライブケーブルの接続と取り外し

IDE ドライブデータケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかみ、引き抜いてコネクタから外します。

シリアル ATA データケーブルの抜き差しをおこなう場合は、ケーブルの両端にある黒いコネクタ部分を持ちます。

IDE コネクタと同様、シリアル ATA インタフェースコネクタも、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。



## ハードドライブ

**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

**⚠ 警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

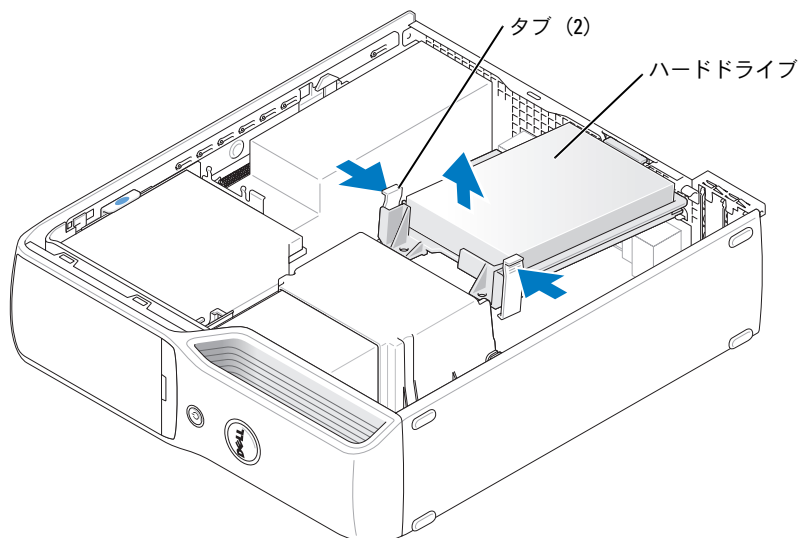
**➡ 注意：**ドライブの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

**➡ 注意：**残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合は、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。

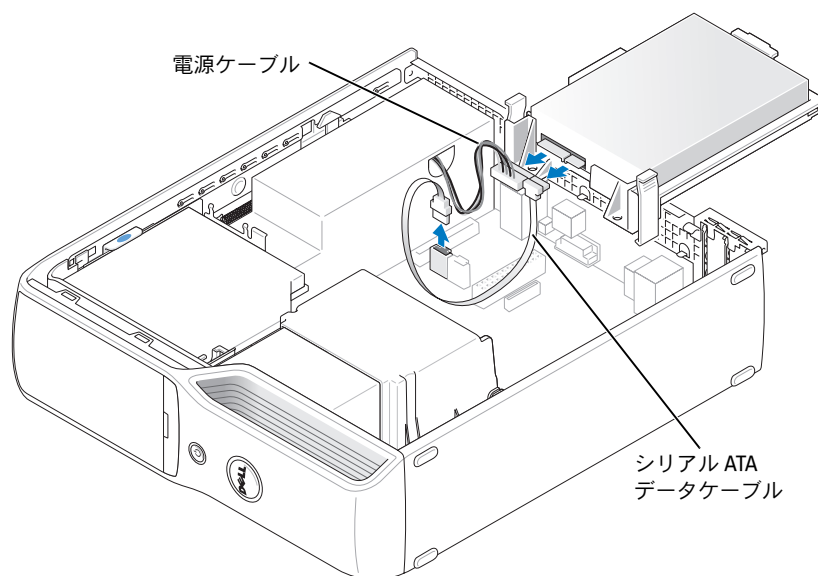
ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。

## ハードドライブの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 ドライブの側面にある青色のタブを内側に押しながら、ドライブを上方向にスライドさせてコンピュータから取り外します。




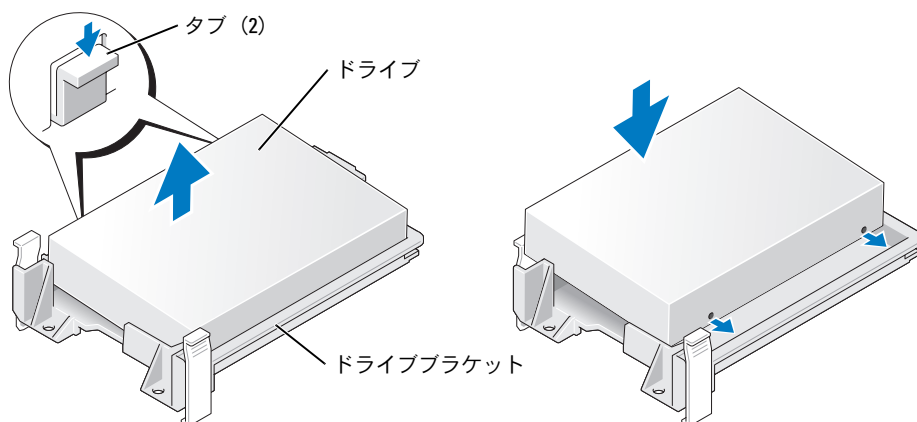
- 3 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから取り外します。



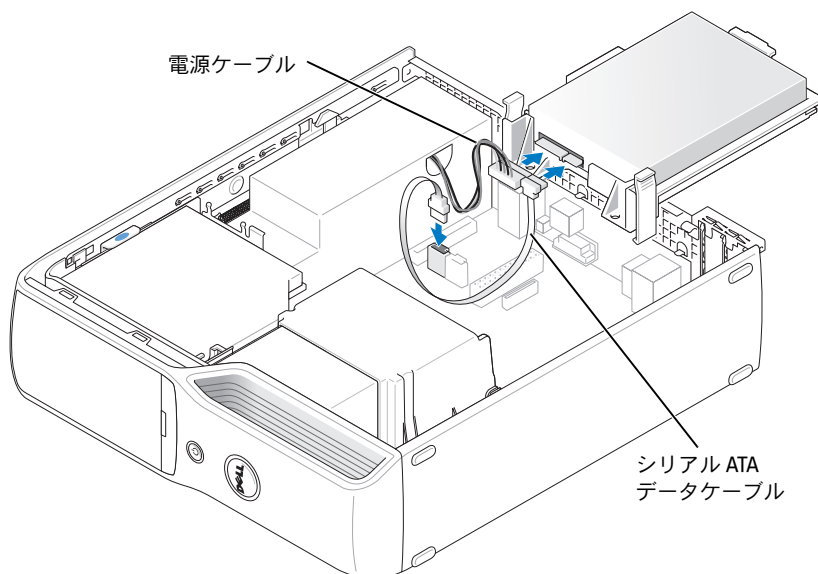
## ハードドライブの取り付け

- 1 交換用のハードドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。
- 2 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。

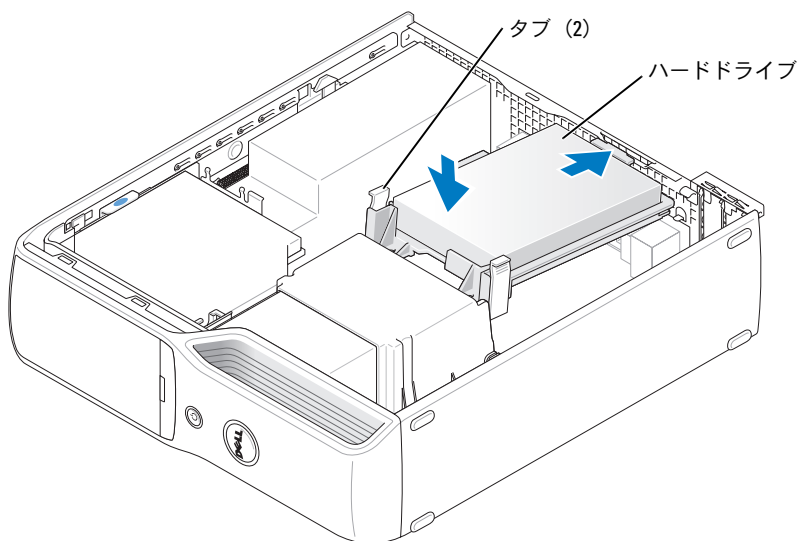
 **メモ**：交換用のハードドライブにプラスチックのガイドブラケットが付いていない場合は、古いドライブからブラケットを取り外します。そのブラケットを新しいドライブにカチッとはめ込みます。



- 3 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブに接続します。



- すべてのコネクタにケーブルが正しく接続され、ドライブがしっかりと固定されていることを確認します。
- ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。



- コンピュータカバーを取り付けます (101 ページ)。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。  
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

## CD/DVD ドライブ

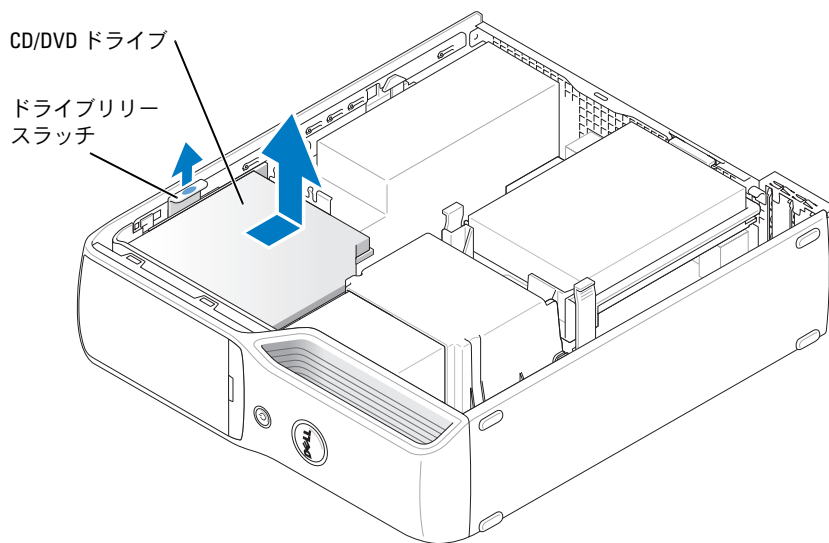
⚠ **警告：**『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

⚠ **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

### CD/DVD ドライブの取り外し

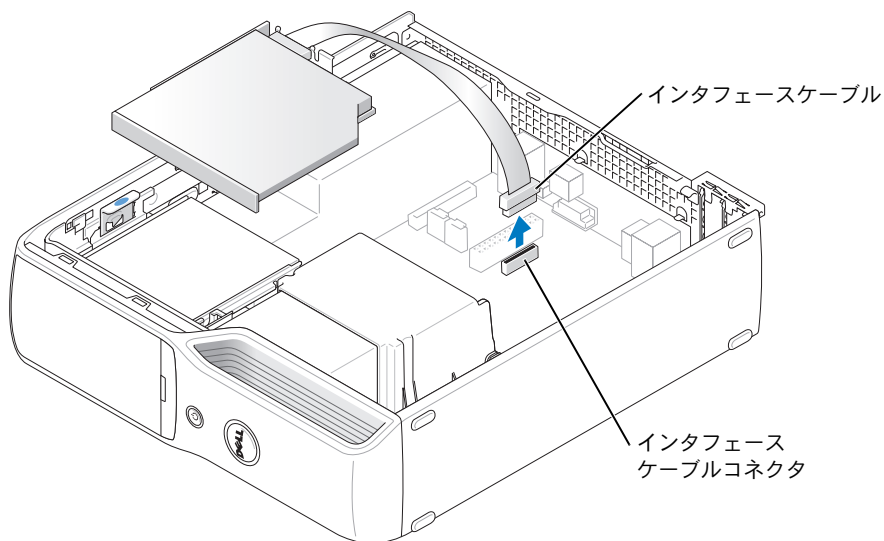
- 「作業を開始する前に」 (63 ページ) の手順に従ってください。
- ➡ **注意：**ドライブをコンピュータから取り外すときにインタフェースケーブルを持たないでください。ドライブケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタが損傷する場合があります。

- 2 ドライブリリースラッチを引き上げ、ドライブをコンピュータの背面へスライドします。
- 3 接続されているインターフェースケーブルを損傷しないように、ドライブを慎重に持ち上げてコンピュータから取り出します。



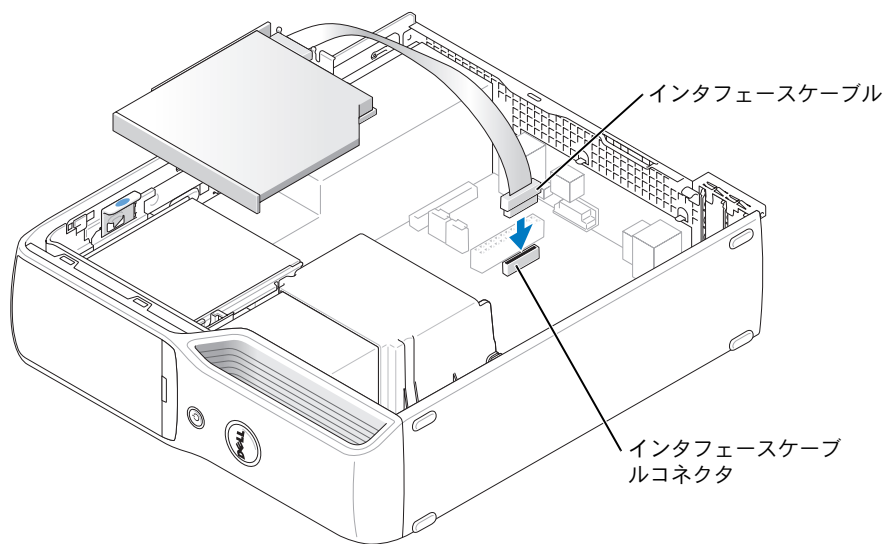
**メモ：**インターフェースケーブルは金属製のドライブブラケットで固定されており、ドライブから取り外す必要はありません。

- 4 システム基板のインターフェースケーブルコネクタからインターフェースケーブルを取り外します（72 ページ を参照）。



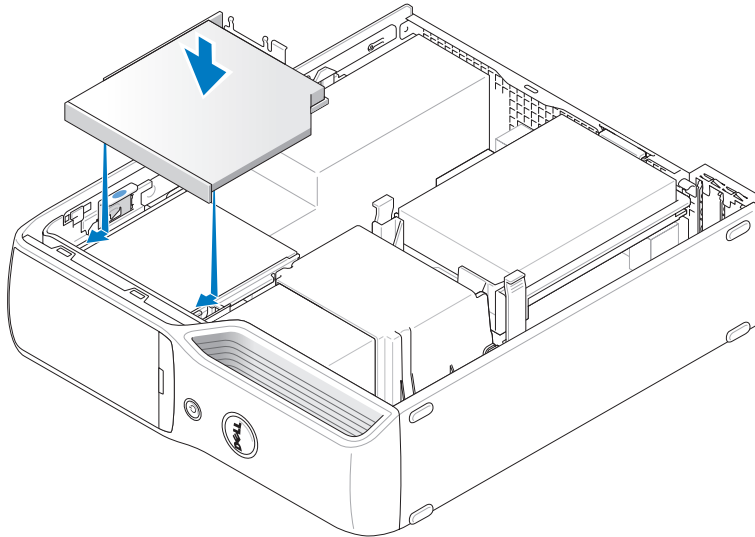
## CD/DVDドライブの取り付け

- 1 ドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。  
ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。IDE ドライブを取り付ける場合は、ドライブを「cable select」に設定します。
- 2 インタフェースケーブルをシステム基板のインタフェースケーブルコネクタに接続します。「システム基板のコンポーネント」(72 ページ) を参照してください。





- 3 ドライブを所定の位置にスライドさせます。



- 4 すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通風孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 5 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。
- 6 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 7 ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 8 セットアップユーティリティを起動し（107 ページを参照）、該当する **Drive**（ドライブ）オプションを選択します。

Dell Diagnostics（診断）プログラム を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（53 ページ を参照）。

## メディアカードリーダー

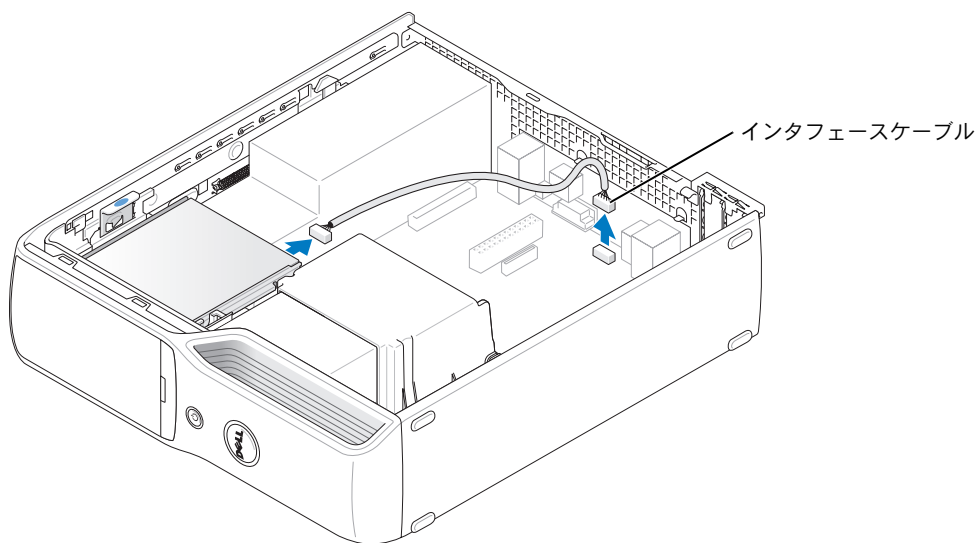
メディアカードリーダーの使用法については、「メディアカードリーダーの使用（オプション）」（14 ページ）を参照してください。

**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

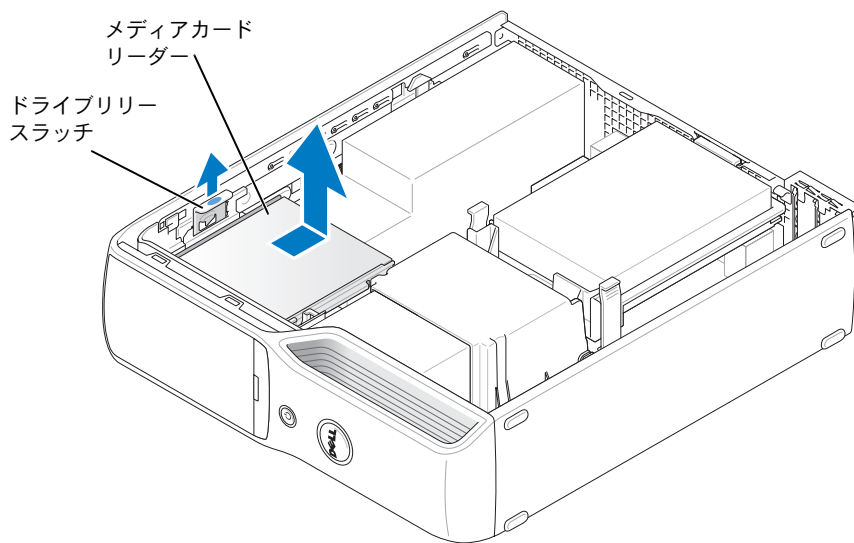
**➡ 注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

## メディアカードリーダーの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 CD/DVD ドライブを取り外します（86 ページ を参照）。
- 3 ハードドライブを取り外します（84 ページ を参照）。
- 4 メディアカードリーダーの背面と、システム基板上のメディアカードリーダーコネクタから、インタフェースケーブルを取り外します（72 ページ を参照）。



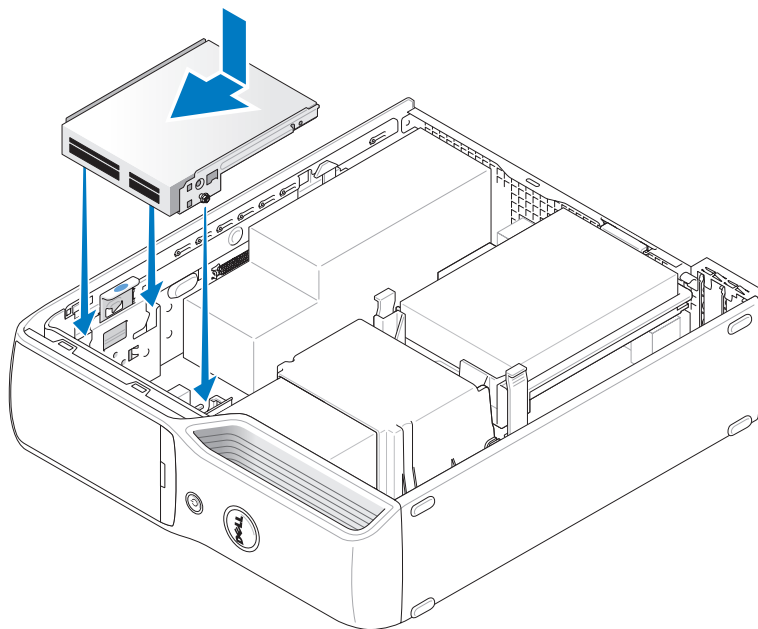
- 5 ドライブリリーススラッチを引き上げ、メディアカードリーダーをコンピュータの背面へスライドします。次に、ドライブを持ち上げてコンピュータから取り外します。



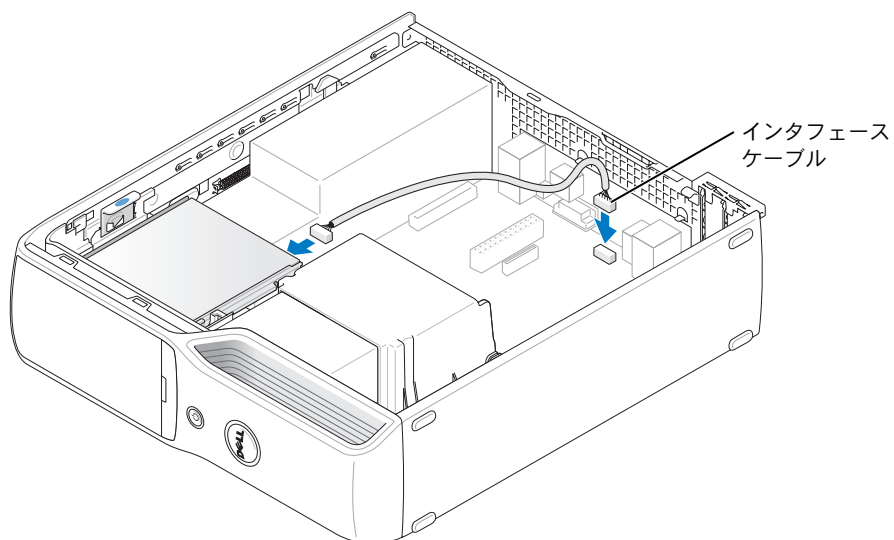
### メディアカードリーダーの取り付け


- 1 「作業を開始する前に」 (63 ページ) の手順に従ってください。
- 2 パッケージからメディアカードリーダーを取り出します。

- 3 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブを押し込みます。





- 4 インタフェースケーブルを、メディアカードリーダーの背面と、システム基板のメディアカードリーダーコネクタに接続します。



- 5 CD/DVD ドライブを取り付けます（88 ページ を参照）。
- 6 ハードドライブを取り付けます（85 ページ を参照）。
- 7 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 8 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。  
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 9 セットアップユーティリティを起動し（107 ページを参照）、該当する **Drive**（ドライブ）オプションを選択します。
- 10 Dell Diagnostics（診断）プログラム を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（53 ページ を参照）。

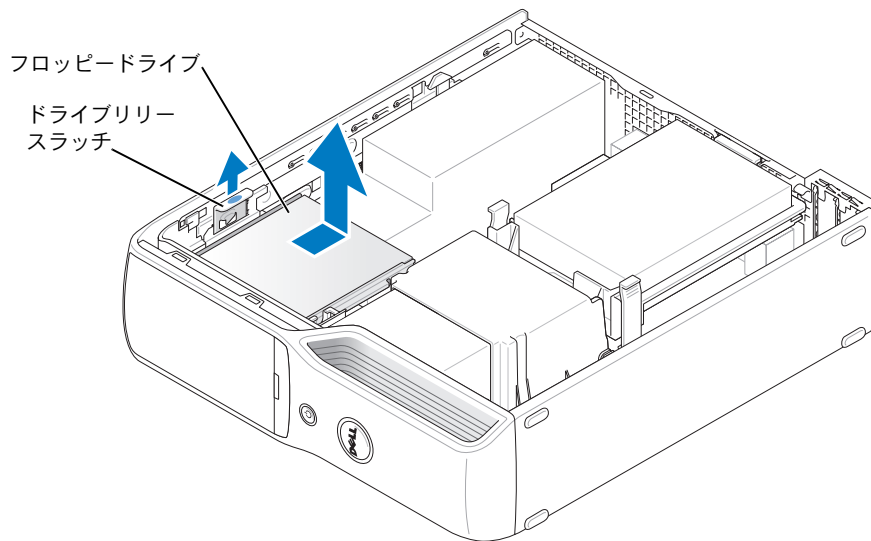
## フロッピードライブ（オプション）

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

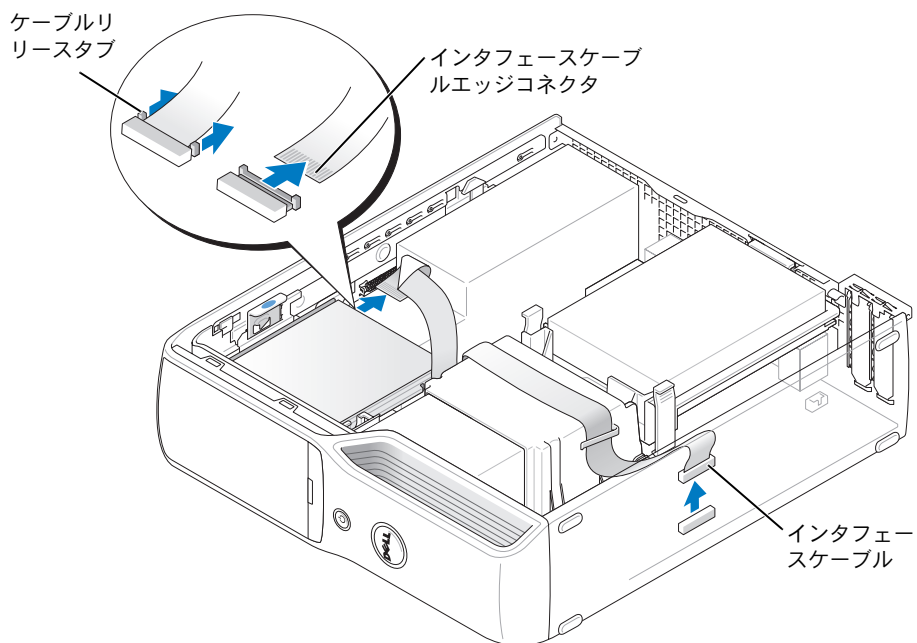
### フロッピードライブの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 CD/DVD ドライブを取り外します（86 ページ を参照）。
- 3 ドライブリリースラッチを引き上げ、ドライブをコンピュータの背面へスライドします。
- 4 接続されているインタフェースケーブルを損傷しないように、ドライブを慎重に持ち上げてコンピュータから取り出します。




5 システム基板からインタフェースケーブルを取り外します（72 ページ を参照）。

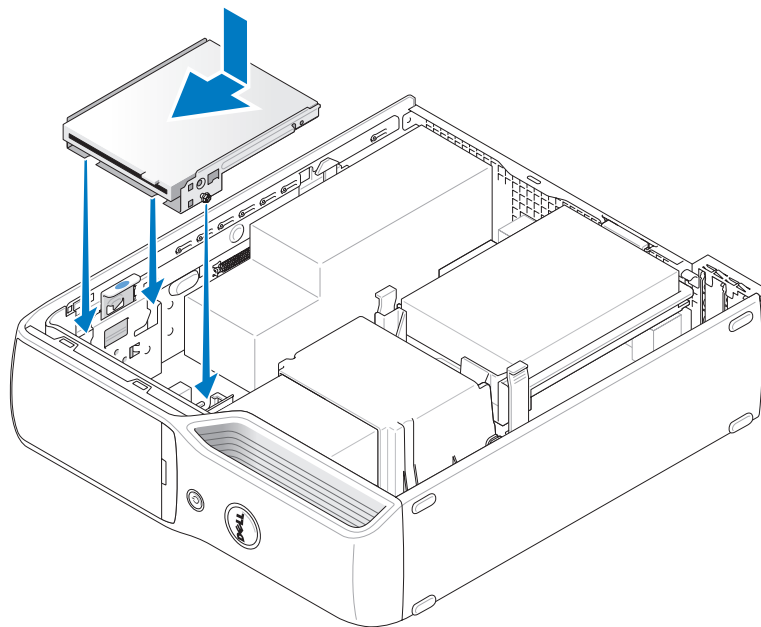
**メモ：** インタフェースケーブルは金属製のドライブブラケットで固定されており、ドライブから取り外す必要はありません。



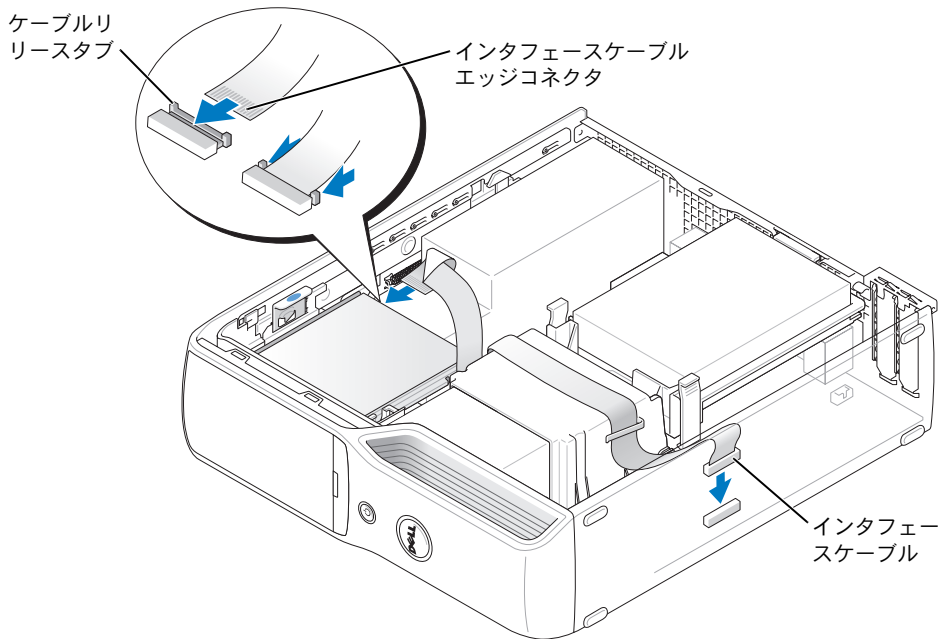
## フロッピードライブの取り付け

 **メモ：** インタフェースケーブルは金属製のドライブブラケットで固定されており、ドライブから取り外す必要はありません。

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。




- 3 インタフェースケーブルをシステム基板に接続します（72 ページ を参照）。





- 4 すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 5 CD/DVD ドライブを取り付けます（88 ページ を参照）。
- 6 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。
- ➡ **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。  
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 8 セットアップユーティリティを起動し（107 ページを参照）、該当する **Diskette Drive**（ディスケットドライブ）オプションを選択します。
- 9 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（53 ページ を参照）。



## モデム


 **警告：**『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

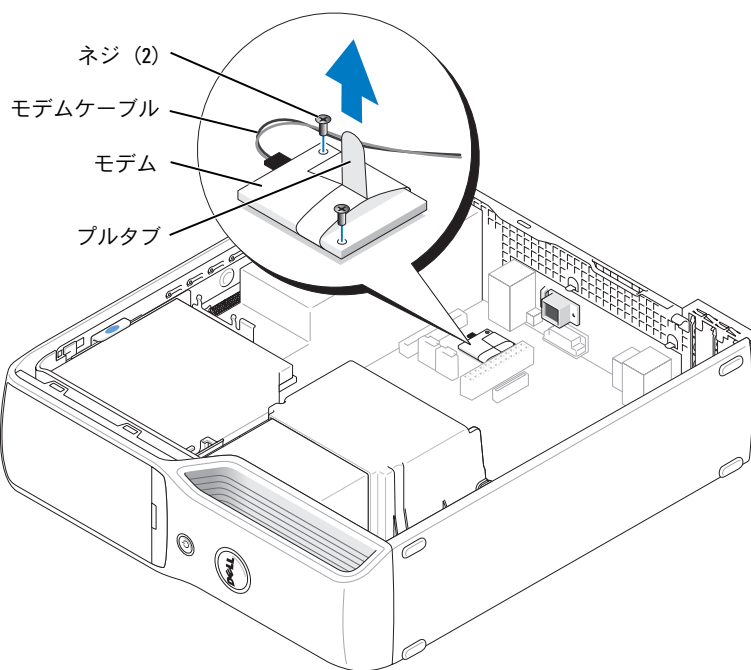
 **注意：**モデムを取り外したり装着したりする前に、コンピュータからすべての電話ケーブルおよびネットワークケーブルを抜いてください。


 **注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

### モデムの交換

1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。

 **メモ：**モデムを交換しやすくするために、場合によりシステム基板上の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す必要があります。



- 2 既存のモデムを取り外します。
  - a モデムからモデムケーブルを取り外します。
  - b 小さなプラスドライバーを使用して、モデムをシステム基板に固定している2つのネジを取り外し、ネジを保管します。
  - c 付いているプルタブをまっすぐ上に引き上げて、システム基板のコネクタからモデムを取り外します。
-  **注意：**コネクタは、向きを合わせないと挿入できないようになっています。うまく挿入できない場合は、コネクタの向きを確認してから、もう一度挿入してください。
- 3 新しいモデムを取り付けます。
  - a モデムをネジ穴に合わせ、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。
  - b モデムケーブルをモデムに接続します。
  - c プラスのドライバーを使用して、モデムをシステム基板に固定する2つのネジを取り付け、締めます。
- 4 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。

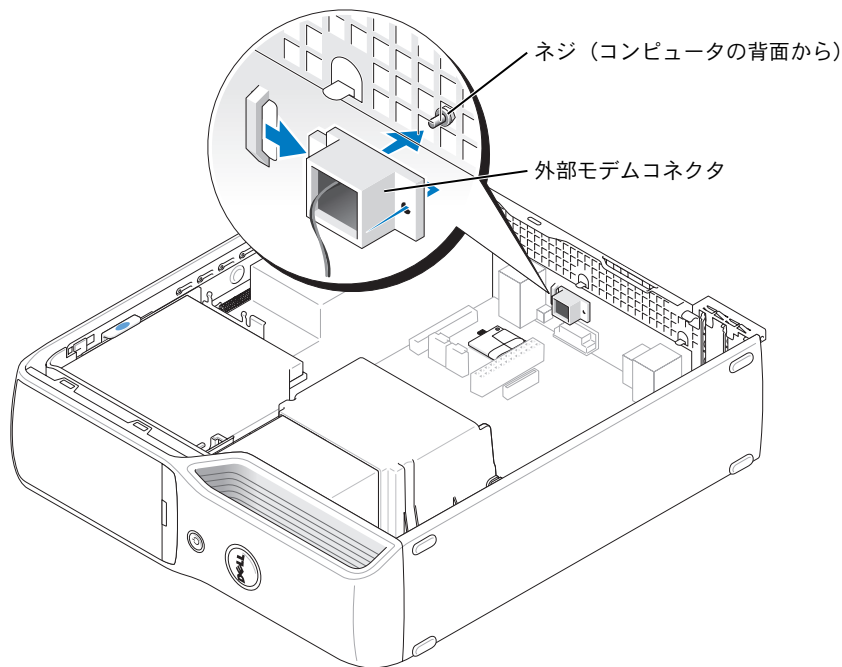
## 外部モデムコネクタの交換

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
- 2 モデムからモデムケーブルを抜きます。
- 3 既存のモデムを取り外します（97 ページを参照）。



**メモ：**モデムを取り外す際に、モデムケーブルの配線をメモしておいてください。モデムを再び取り付ける際に、ケーブルが挟まれたり折れ曲がったりしないように、正しく配線する必要があります。

- 4 モデムからモデムケーブルを抜きます。
- 5 外部モデムコネクタを取り外します。
  - a 外部モデムコネクタを固定しているネジを取り外します。
  - b モデムコネクタを固定しているスロットから外部モデムコネクタをスライドします。
  - c コンピュータからモデムケーブルとコネクタを取り出します。



- 6 新しいモデムケーブルと外部モデムコネクタを取り付けるには、次の手順を実行します。
  - a モデムケーブルを外部モデムコネクタに接続します。
  - b 外部コネクタをコンピュータの背面にあるスロットに合わせます。
  - c 外部モデムコネクタを固定するネジを取り付けます。
  - d ケーブルワイヤを注意深く配線し、モデムケーブルをモデムに再接続します。
- 7 コンピュータカバーを取り付けます (101 ページを参照)。

## バッテリー

**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

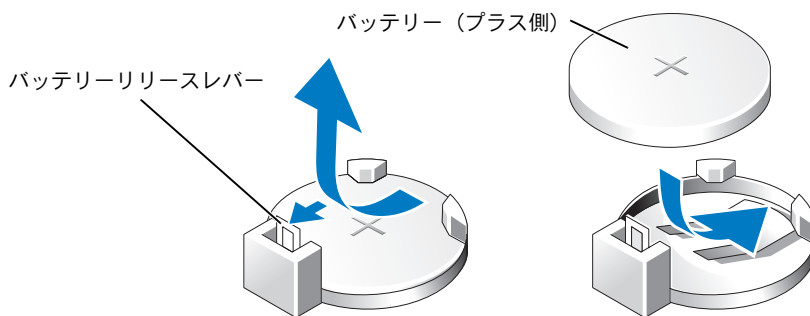
**🔄 注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時刻と日付の情報をリセットする必要がある場合は、バッテリーを交換します。

- ⚠ 警告：**新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂するおそれがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

## バッテリーの交換

- ✎ メモ：**コイン型バッテリーの種類については、「電源」（106 ページ）を参照してください。
- 1 手順 9 で正しい設定に戻すことができるように、セットアップユーティリティ画面をすべて記録します（107 ページを参照）。
  - 2 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従います。
  - 3 コンピュータカバーを取り外します（69 ページを参照）。
  - 4 バッテリーソケットの位置を確認します（72 ページを参照）。
- ➡ 注意：**道具（先端の鋭くないものを使用してください）を使用して、バッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。バッテリーを取り出す前に、道具がバッテリーとソケットの間に挿入されていることを確認してください。確認しないと、ソケットをこじ開けたり、システム基板の回路トレースを壊したりして、システム基板を損傷するおそれがあります。
- 5 システムバッテリーを取り外します。
    - a バッテリーリリースレバーを押して、バッテリーを少し斜めに持ち上げます。
    - b バッテリーコネクタを支えた状態で、バッテリーを固定タブから取り外します。



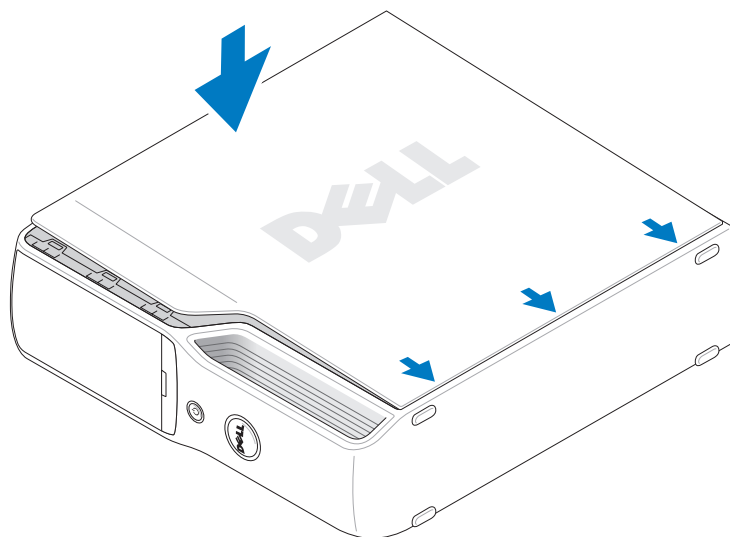
- ➡ 注意：**バッテリーの取り付け、取り外しの際には、バッテリーコネクタが破損しないようにしっかり支えてください。
- 6 「+」の側を上向きにしてバッテリーを持ち、所定の位置にカチッと収まるまでコネクタに押し込みます。
  - 7 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照）。
- ➡ 注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 8 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

- 9 セットアップユーティリティを起動（107 ページを参照）して、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 10 古いバッテリーは適切に廃棄します。バッテリーの廃棄に関しては、『製品情報ガイド』を参照してください。

## コンピュータカバーの取り付け

**⚠ 警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 すべてのケーブルが確実に接続され、ケーブルが邪魔にならないように束ねられていることを確認します。  
電源ケーブルを軽く自分の方に引っ張り、ドライブの下にはさまらないようにします。
- 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないことを確認します。
- 3 カバーを装着するには、次の手順を実行します。
  - a カバーの底部をコンピュータの端底部にあるタブに合わせます。
  - b タブをてこにして、カバーを下に回転します。



- c カバーリリースラッチを引き抜いてカバーをカチッと音がする場所にはめ込み、カバーを適切に装着したらラッチを放します。
  - d コンピュータをまっすぐ立てる前に、カバーが正しく装着されていることを確認します。

**➡ 注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

- 4 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。



## 補足事項

### 仕様

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Pentium® 4 5XXX および 6XXX プロセッサ (ハイパースレッディングテクノロジー搭載) Pentium D 8XXX デュアルコアプロセッサ (ハイパースレッディング非搭載) Intel Celeron® D プロセッサ
L1 (レベル 1) キャッシュ	Pentium 4 5XXX / 6XXX プロセッサ、および Celeron D プロセッサの場合、16 KB Pentium D 8XXX デュアルコアプロセッサの場合、2 x 16 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	Pentium 4 5XXX プロセッサの場合、1 MB Pentium 4 6XXX プロセッサの場合、2 MB Pentium D 8XXX プロセッサの場合、2 x 1 MB Celeron D プロセッサの場合、256 KB (コンピュータの構成に応じて) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエイティブ、ライトバック SRAM
メモリ	
タイプ	400 MHz および 533 MHz DDR2 アンバッファ SDRAM
メモリコネクタ	× 4
メモリ容量	256 MB、512 MB、1 GB、または 2-GB 非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	4 GB <b>メモ：</b> オペレーティングシステムで利用可能なメモリのサイズを確認する方法については、「4 GB 構成でのメモリアドレスリング」(74 ページ)を参照してください。
BIOS アドレス	F0000h

<b>コンピュータ情報</b>	
チップセット	Intel 945G Express
DMA チャンネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ (NVRAM)	4 Mb
NIC	10/100 Mbps の通信が可能なオンボード NIC
システムクロック	800 MHz データレート
<b>ビデオ</b>	
タイプ	Intel integrated Graphics Media Accelerator (GMA) 950
<b>オーディオ</b>	
タイプ	Intel® High Definition Audio
<b>拡張バス</b>	
バスのタイプ	PCI Express x1 および x16
バス処理速度	PCI Express : x1 スロット双方向速度 : 500 MB/ 秒 x16 スロット双方向速度 : 8 GB/ 秒
PCI Express :	
コネクタ	× 1 × 1
コネクタのサイズ	36 ピン
コネクタのデータ幅 (最大)	PCI Express レーン × 1
PCI Express :	
コネクタ	× 16 × 1
コネクタのサイズ	164 ピン
コネクタのデータ幅 (最大)	PCI Express レーン × 16
<b>ドライブ</b>	
外部アクセス用	3.5 インチのスリムラインメディアベイ × 1 5.25 インチのスリムラインドライブベイ × 1
利用可能なデバイス	シリアル ATA ドライブ、USB メモリデバイス、CD ドライブ、DVD ドライブ、DVD+RW ドライブ、DVD/CD-RW コンボドライブ、DVD+/-RW、およびメディアカードリーダー
内部アクセス用	1 インチ高のハードドライブ × 1



---

## コネクタ

---

### 外付けコネクタ：

IEEE 1394	6 ピンパワー背面パネルコネクタ× 1 6 ピンパワー正面パネルコネクタ× 1
ビデオ	15 ピン D-SUB コネクタ (メス)
USB	USB 2.0 準拠コネクタ× 7 (正面パネルに 2 つと背面パネルに 5 つ)
オーディオ	5 つの背面パネルコネクタ (ライン入力、ライン出力、リアサラウンドサウンド、マイクまたはサイドサラウンドサウンド、センター/LFE チャンネル) 背面パネル S/PDIF コネクタ 正面パネルヘッドフォンミニコネクタ (ライン出力用) 正面パネルマイクコネクタ
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ
モデム	RJ11 (MDC 1.5) コネクタ

### システム基板コネクタ：

IDE ドライブ	50 ピンコネクタ× 1
シリアル ATA	7 ピンコネクタ× 1
ファン	5 ピンコネクタ× 1
PCI Express x1	36 ピンコネクタ
PCI Express x16	164 ピンコネクタ
USB	オプションのメディアカードリーダー用 8 ピンヘッダー (3.5 インチベイデバイス)
MDC	12 ピンコネクタ× 1
フロッピーコネクタ	26 ピンコネクタ× 1
正面パネル	40 ピンヘッダー× 1
電源	2 x 22 コネクタ× 1
プロセッサ電源	2 x 2 コネクタ× 1
IEEE 1394	2 x 5 ヘッダー× 1 — ケーブルで正面パネルに常時接続、正面パネル IEEE1394 ポートをサポート

---

## ボタンとライト

---

電源ボタン	プッシュボタン
電源ライト	緑色のライト — 緑色の点滅はスリープ状態です。緑色の点灯は電源投入状態です。 黄色のライト — 黄色の点滅は取り付けられているデバイスに問題が発生していることを示します。黄色の点灯は内部電源の問題を示します（「電源の問題」（42 ページ）を参照）。
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	緑色のライト — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 オレンジのライト — 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 オフ（点灯なし） — ネットワークとの物理的な接続が検知されていません。
アクティビティライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	黄色の点滅ライト
診断ライト	正面パネルのライト×4（診断ライトのコードについては「診断ライト」（49 ページ）を参照）
スタンバイ電源ライト	システム基板上的 AUX_PWR
アクティビティライト（メディアカードリーダーはオプション）	緑色の点滅ライト

---

## 電源

---

### DC 電源装置：

ワット数	275 W
放熱	939 BTU / 時 <b>メモ：</b> 熱消費は電源ユニットの定格に基づいて算出したものです。

電圧（電圧設定に関する重要な情報については『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」を参照してください）  
手動選択電源ユニット — 90 ~ 135 V（50/60 Hz）；  
180 ~ 265 V（50/60 Hz）

バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウム電池
-------------	-----------------------

---

## サイズと重量

---

高さ	31.5 cm
幅	9.4 cm
奥行	36.5 cm
重量	6.89 kg

---

## 環境

---

温度：

動作時 10 ~ 35 °C

保管時 -40 ~ 65 °C

相対湿度 20% ~ 80% (結露しないこと)

最大振動：

動作時 0.25 G (3 ~ 200 Hz、0.5 オクターブ/分)

保管時 0.5 G (3 ~ 200 Hz、1 オクターブ/分)

最大耐久衝撃：

動作時 ボトムハーフサインパルス (50.8 cm / 秒の速度変化)

保管時 27 G フェアードスクエアウェーブ (508 cm / 秒の速度変化)

高度：

動作時 -15.2 m ~ 3,048 m

保管時 -15.2 m ~ 10,668 m

# セットアップユーティリティ

## 概要

セットアップユーティリティは次の場合に使用します。

- コンピュータに対してハードウェアの取り付け、変更、取り外しを行った後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどの、ユーザーが選択可能なオプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、システム設定画面の情報を控えておくことをお勧めします。



**注意：**コンピュータの操作に詳しい方以外は、このプログラムの設定を変更しないことをお勧めします。変更内容によっては、コンピュータが正しく動作しないことがあります。

## セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青い DELL™ ロゴの画面が表示されたら、<F2> キーをすぐに押します。

キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして（「コンピュータの電源を切る」（63 ページ）を参照）、操作をやり直してください。

## セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の（または変更可能な）設定情報が表示されます。画面の情報は、以下の3つの領域に分割されています。オプションのリスト、アクティブなオプションのフィールド、キー操作。

<p><b>Options List</b>（オプションリスト）— このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、スクロール付きのボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示す機能を一覧表示します。</p>	<p><b>Option Field</b>（オプションフィールド）— このフィールドには、各オプションの説明が表示されます。このフィールドでは、現在の設定を表示したり設定を変更できます。左右の矢印キーを使用して、オプションをハイライト表示します。選択をアクティブにするには、&lt;Enter&gt; を押します。</p>
<p>上下の矢印キーで、リストを上下にスクロールしてください。オプションをハイライト表示すると、<b>Option Field</b>（オプションフィールド）にオプションの詳細、現在の設定、および利用可能な設定が表示されます。各メインオプションフィールドを展開したり折りたたんだりするには、&lt;Enter&gt; を押します。</p>	<p><b>Key Functions</b>（キー操作）— このフィールドは <b>Option Field</b>（オプションフィールド）の下に表示され、キーに割り当てられた機能をアクティブなセットアップユーティリティフィールド内に一覧表示します。</p>

## セットアップオプション



**メモ：**コンピュータや BIOS のバージョン、取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示されている項目が表示されなかったり、記載どおりに表示されないことがあります。

System (システム)	
System Info (システム情報)	コンピュータ名、BIOS のバージョン番号と日付、システムタグ、その他のシステム固有情報などのシステム情報を表示します。 <b>メモ：</b> BIOS で表示されるシステム名は、コンピュータ上の表示またはコンピュータのマニュアルの記載とはやや異なる場合があります。
CPU Info (CPU 情報)	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしているかどうかを識別し、プロセッサバス速度、プロセッサ ID、クロック速度、および L2 キャッシュを一覧表示します。
Memory Info (メモリ情報)	搭載メモリのサイズ、メモリ速度、チャンネルモード (デュアルまたはシングル)、および搭載メモリのタイプを表示します。
Date/Time (日付 / 時刻)	現在の日付と時刻の設定を表示します。
Boot Sequence (起動順序)	この一覧で指定されたデバイス順序に従って、コンピュータを起動します。 <b>メモ：</b> 起動デバイスを挿入してコンピュータを再起動すると、このオプションがセットアップユーティリティメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選択して、一覧の先頭に移動します。
Drives (ドライブ)	
Diskette Drive (ディスクетドライブ)	システム基板の FLOPPY コネクタに接続されたフロッピードライブを識別して定義します。定義の種類は、 <b>Off</b> (オフ)、 <b>USB</b> 、 <b>Internal</b> (内蔵) または <b>Read Only</b> (読み取り専用) です。
Drives 0 through 1 (ドライブ 0 ~ 3)	システム基板の SATA または IDE コネクタに接続されたドライブを識別し、ハードドライブの容量を一覧表示します。
SATA Operation (SATA 動作)	SATA モードを識別して定義します。SATA コントローラは、 <b>AHCI</b> または <b>ATA</b> モードに設定できます。
Onboard Devices (オンボードデバイス)	
NIC Controller (NIC コントローラ)	NIC は <b>On</b> (オン) (デフォルト)、 <b>Off</b> (オフ)、または <b>On w/ PXE</b> に設定できます。 <b>On w/ PXE</b> 設定がアクティブな場合は (以降の起動プロセスのみで有効)、<Ctrl><Alt><b> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバーからの起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できない場合、コンピュータは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。

1394 Controller (1394 コントローラ)	IEEE 1394 接続の有効 / 無効を切り替えます。
Card Reader (カードリーダー)	オプションのメディアカードリーダーの有効 / 無効を切り替えます。
Audio Controller (オーディオコントローラ)	オンボードオーディオコントローラの有効 / 無効を切り替えます。
USB Controller (USB コントローラ)	<b>On</b> (オン) (デフォルト) に設定すると、オペレーティングシステムで USB デバイスが検出されてサポートされます。 <b>No Boot</b> (起動なし) オプションをオンにすると、USB コントローラが有効になりますが、USB ストレージデバイスは認識されません。
<b>Video (ビデオ)</b>	
Primary Video (プライマリビデオ)	コンピュータ上に 2 つのビデオコントローラが存在する場合、どちらがプライマリになるかを指定します。
Video Memory Size (ビデオメモリサイズ)	オンボードビデオコントローラ用に 8 MB (デフォルト) または 1 MB のシステムメモリを選択します。
<b>Performance (パフォーマンス)</b>	
HyperThreading (ハイパースレッディング)	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしている場合、 <b>Options List</b> (オプションリスト) にこのオプションが表示されます。
SpeedStep	このフィールドでは、コンピュータでサポートされる任意のプロセッサについて、Enhanced SpeedStep® Technology を有効にするかどうかを指定します。
HDD Acoustic Mode (HDD アコースティックモード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Bypass</b> (バイパス) — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。</li> <li>• <b>Quiet</b> (静粛) (デフォルト) — ハードドライブは最も静かな設定で動作します。</li> <li>• <b>Suggested</b> (推奨) — ハードドライブは、ドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。</li> <li>• <b>Performance</b> (パフォーマンス) — ハードドライブは最大速度で動作します。</li> </ul> <p><b>メモ:</b> Performance (パフォーマンス) モードへ切り替えると、ドライブはより大きなノイズを発生する場合がありますが、ドライブの動作に影響はありません。</p> <p><b>メモ:</b> アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。</p>
Security (セキュリティ)	利用可能なシステムセキュリティオプションを表示します。

DEP (Execute Disable) (DEP (実行防止))	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Opt-In</b> (デフォルト) — NX 対応プロセッサを搭載したコンピュータ上ではデフォルトで DEP が有効になっています。このオプションでは、Windows システムバイナリのみが DEP の対象となります。アプリケーションについては、アプリケーション互換シムを作成しアプリケーションとともにそのシムをインストールすることで、DEP 保護を有効にできます。</li> <li>• <b>Opt-Out</b> — DEP はすべてのプロセスに対して有効です。ユーザーは、システムのプロパティで特定のアプリケーションについての例外を手動で作成できます。または、IT 担当者や ISV は Application Compatibility Toolkit を使用して opt-out 設定を行うことができます。</li> <li>• <b>Always On</b> (常時オン) — 例外なく完全に DEP を適用します。</li> <li>• <b>Always Off</b> (常時オフ) — ユーザーモードでの DEP の適用を行いません。ドライバおよび Windows コアカーネルバイナリは DEP の対象ですが、その他のバイナリは対象アプリケーションのセットに含まれません。</li> </ul>
Unlock Setup (セットアップのアンロック)	<p>このオプションで<b>管理者パスワード</b>を使用すると、セットアップオプションをアンロックできます。</p> <p><b>メモ</b>：このオプションは、<b>管理者パスワード</b>のオプションが有効になっている場合にのみ表示されます。</p>
Admin Password (管理者パスワード)	<p>コンピュータのセットアップユーティリティへのアクセスを制限できます。これは、<b>System Password</b> (システムパスワード) オプションでシステムへのアクセスを制限するのと同様のオプションです。</p> <p><b>メモ</b>：パスワードを削除するには、古いパスワードを入力して &lt;Enter&gt; を 2 回押します。</p>
System Password (システムパスワード)	<p>システムのパスワードセキュリティ機能の現在のステータスを表示し、新しいシステムパスワードの設定と検証を可能にします。</p>
Password Status (パスワードのステータス)	<p>セットアップパスワードを使用して、システムパスワードフィールドをロックします。フィールドをロックすると、コンピュータの起動時に &lt;Ctrl&gt;&lt;Enter&gt; を押してもパスワードセキュリティを無効にできません。</p>
<b>Power Management (電源の管理)</b>	
AC Recovery (AC リカバリ)	<p>コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを設定します。</p>
Auto Power On (自動電源オン)	<p>コンピュータに自動的に電源を投入するよう設定します。選択可能なオプションは、<b>every day</b> (毎日)、または毎週 <b>Monday through Friday</b> (月～金) です。</p> <p>デフォルト設定は <b>Off</b> (オフ) です。</p> <p>この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。</p>

Auto Power Time (自動電源投入時刻)	<p>コンピュータに自動的に電源を投入する時刻を設定します。</p> <p>時刻は 24 時間形式 (時:分) で表示されます。左右の矢印キーを押して数値を増減するか、日付と時刻のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時刻を変更します。</p> <p>この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。</p>
Suspend Mode (サスペンドモード)	<p>選択可能なオプションは、<b>S1</b> (コンピュータが低電力モードで動作するサスペンド状態) と <b>S3</b> (ほとんどのコンポーネントへの供給電力を抑制または停止するスタンバイ状態) です。ただし、システムメモリはアクティブなままです。</p>
Quick Resume	<p>この機能により、Intel Viiv Quick Resume Technology を有効または無効にできます。</p> <p>デフォルト設定は <b>Off</b> (オフ) です。</p>

## Maintenance (メンテナンス)

Event Log (イベントログ)	<p>システムのイベントログを表示します。</p>
-----------------------	---------------------------

## POST Behavior (POST 動作)

Fastboot (高速起動)	<p><b>On</b> (オン) (デフォルト) に設定すると、一部の設定とテストがスキップされるため、コンピュータが高速に起動します。</p>
Numlock Key (Numlock キー)	<p>このオプションは、キーボードの一番右側にあるキーに関係します。</p> <p><b>On</b> (オン) (デフォルト) に設定すると、各キートップに表示されている数字と演算記号が有効になります。<b>Off</b> (オフ) に設定すると、各キーの側面に表示されているカーソル制御機能が有効になります。</p>
POST Hotkeys (POST ホットキー)	<p>このオプションを使用すると、コンピュータの起動時に表示されるファンクションキーを指定できます。</p>
Keyboard Errors (キーボードエラー)	<p>このオプションを使用すると、コンピュータの起動時にキーボードエラーを報告するかどうかを指定できます。</p>

## Boot Sequence (起動順序)

この機能を使用すると、デバイスの起動順序を変更できます。



**注意：** 起動順序の設定を変更したときは、新しい設定を保存しないと変更内容が失われます。



## オプション設定

- **Diskette Drive** (ディスクドライブ) — コンピュータがフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはコンピュータにフロッピードライブが取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** (ハードドライブ) — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** (CD ドライブ) — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。CD がドライブにない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device** (USB フラッシュデバイス) — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上隅に F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB flash オプションを起動メニューに追加します。



**メモ**：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能かどうかを確認してください。

## 現在の起動用の起動順序の変更

この機能は、フロッピードライブやメモリキーなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するときなどに使用します。

- 1 USB デバイスから起動するときは、USB デバイスを USB コネクタに接続します（「コネクタ」（105 ページ）を参照）。
- 2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 3 画面の右上隅に F2 = Setup, F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして（「コンピュータの電源を切る」（63 ページ）を参照）、操作をやり直してください。

使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した **Boot Device Menu** (起動デバイスメニュー) が表示されます。

- 4 デバイスを選択して <Enter> を押します。

たとえば、USB メモリキーから起動する場合は、**USB Flash Device** (USB フラッシュデバイス) をハイライト表示して <Enter> を押します。




**メモ**：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。




**メモ**：起動順序は **System Setup Options** (セットアップユーティリティオプション) の Boot Sequence (起動順序) オプションでも変更できます（「109 ページ」を参照してください）。

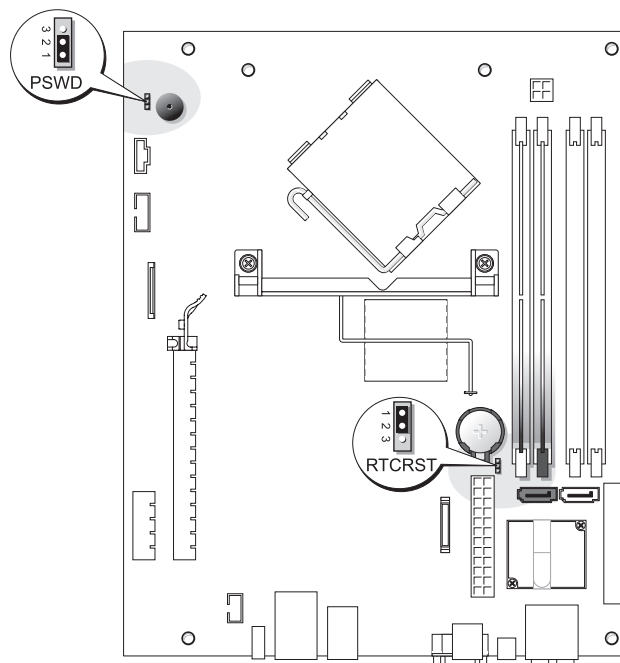
## 将来の起動用の起動順序の変更

- 1 セットアップユーティリティを起動します（108 ページを参照）。
  - 2 矢印キーを押して **Boot Sequence**（起動順序）メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。
-  **メモ**：後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を控えておきます。
- 3 デバイスの一覧内を移動するには、上下矢印キーを押します。
  - 4 デバイスを有効または無効にするには、スペースバーを押します（有効にしたデバイスにはチェックマークが付いています）。
  - 5 選択したデバイスを一覧内で上下に移動するには、<U> キーまたは <D> キーを押します。


## 忘れたパスワードの取り消し

 **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。


- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従います。




- 2 パスワードをクリアするには、ピン 1 とピン 2 からジャンパを取り外します。


- 3 コンピュータカバーを取り付けます（「コンピュータカバーの取り付け」（101 ページ）を参照）。
  - 4 コンピュータおよびモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
  - 5 Microsoft® Windows® デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします（「コンピュータの電源を切る」（63 ページ）を参照）。
  - 6 モニターの電源を切ってコンセントから外します。
  - 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。
  - 8 コンピュータカバーを取り外します（「コンピュータカバーの取り外し」（69 ページ）を参照）。
  - 9 システム基板上にある 3 ピンパスワードジャンパ（PSWD）を見つけ（「114 ページ」を参照）、ジャンパプラグをピン 1 とピン 2 に取り付けて、パスワード機能を再度有効にします。
  - 10 コンピュータカバーを取り付けます（「コンピュータカバーの取り付け」（101 ページ）を参照）。
-  **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

## CMOS 設定の取り消し


 **警告：** 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 「作業を開始する前に」（63 ページ）の手順に従ってください。
  - 2 ハードドライブを取り外します（84 ページ を参照）。
  - 3 最新の CMOS 設定にリセットします。
    - a システム基板上の 3 ピン CMOS ジャンパ（RTCRST）を見つけます（114 ページ を参照）。
    - b ピン 2 とピン 3 からジャンパプラグを取り外します。
    - c ジャンパプラグをピン 1 とピン 2 に取り付けて、約 5 秒待ちます。
    - d ジャンパプラグをピン 2 とピン 3 に再度取り付けます。
  - 4 ハードドライブを取り付けます（85 ページ を参照）。
  - 5 コンピュータカバーを取り付けます（「コンピュータカバーの取り付け」（101 ページ）を参照）。
-  **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 6 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。


## コンピュータのクリーニング

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

### コンピュータ、キーボード、およびモニター

 **警告：**コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- ブラシの付いた掃除機を使って、コンピュータのスロット部分や開口部、およびキーとキーボードの間から慎重にほこりを取り除きます。

 **注意：**モニター画面を石鹼またはアルコール溶液で拭かないでください。反射防止コーティングが損傷するおそれがあります。

- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの静電気防止コーティング用の溶液をお使いください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を3対1で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔なクリーニング布を使って拭きます。

クリーニング布を浸さないでください。またコンピュータやキーボードの内部に水が入らないようにしてください。

### マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合は、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

- 1 マウスの底の保持リングを反時計回りに回して、ボールを取り外します。
- 2 清潔で糸くずの出ない布でボールを拭きます。
- 3 ボールケースを軽く吹いて、ほこりや糸くずを取り除きます。
- 4 ボールケース内側のローラーに汚れが堆積している場合は、イソプロピルアルコールを軽く含ませた綿棒で取り除きます。
- 5 ローラーが溝からずれてしまった場合は、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 6 ボールと保持リングを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、保持リングを時計回りに回します。

## CD および DVD

- ➡ **注意：**CD/DVDドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルの手順に従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合は、ディスクを掃除してみます。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中央の穴の縁に触れることもできます。

- ➡ **注意：**円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつけるおそれがあります。
- 2 糸くずの出ない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）を中央から縁に向けて放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れには、水、または石鹸を薄めた水を使用します。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーニング製品は、DVD にも使用できます。

## 「プリインストールされている」ソフトウェアと周辺機器の定義

プリインストールされているソフトウェアとは、コンピュータの製造過程でインストールされるオペレーティングシステムやソフトウェアプログラム（Microsoft® Office、Norton Antivirus など）を指します。

工場出荷時に取り付け済みの周辺機器には、内蔵拡張カードやデルブランドのモジュールベイ、PC カードアクセサリが含まれます。また、デルブランドのモニター、キーボード、マウス、スピーカー、電話モデム用のマイク、ドッキングステーションやポートリプリケータ、ネットワーク製品、およびすべての関連ケーブルも含まれます。

## 「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義

サードパーティ製ソフトウェアと周辺機器には、デルが販売し、かつデルブランドでない周辺機器、アクセサリ、ソフトウェアプログラムが含まれます（プリンタ、スキャナ、カメラ、ゲームなど）。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、これらの製品の製造元によって提供されます。

## デルの連絡先

インターネット上でのデルへのアクセスには、次のアドレスをご利用ください。

- [www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp)
- [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)（テクニカルサポート）
- [premier.dell.co.jp/premier](http://premier.dell.co.jp/premier)（プレミア、プラチナ、ゴールドカスタマーを含む教育、政府、医療機関、中規模および大規模企業のカスタマー向けテクニカルサポート）

デルへお問い合わせになる場合、以下の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。



**メモ**：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。



**メモ**：一部の国では、対象国ごとの電話番号一覧を参照して、Dell XPS ポータブルコンピュータ専用のテクニカルサポートを受けることができます。XPS ポータブルコンピュータ専用の電話番号が一覧にない場合は、テクニカルサポート電話番号を通じてデルにお問い合わせいただければ、担当者におつなぎします。

デルへお問い合わせになる際には、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよびE-メールアドレス	市外局番 市内番号、または フリーコール
日本（川崎）	ウェブサイト： <a href="http://support.jp.dell.com">support.jp.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： <b>001</b>		toll-free: 0120-198-498
国番号： <b>81</b>	テクニカルサポート （Dimension および Inspiron）	フリーコール：0120-198-226
市外局番： <b>44</b>	テクニカルサポート（海外から） （Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
	テクニカルサポート（PDA、プロジェクト、プリンタ、ルーター）	フリーコール：0120-981-690
	テクニカルサポート（海外から） （PDA、プロジェクト、プリンタ、ルーター）	81-44-556-3468
	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

# 索引

## B

BIOS, 107

## C

CD

再生, 19

CD/DVD-RW ドライブ  
問題, 33

CD/DVD ドライブ  
問題, 32

CD のコピー  
一般情報, 21  
方法, 22  
役に立つヒント, 23

CMOS 設定  
取り消し, 115

## D

Dell Premier サポート  
トウェブサイト, 10

DVD

再生, 19

DVD ドライブ  
問題, 32

DVD のコピー  
一般情報, 21  
方法, 22  
役に立つヒント, 23

## I

IEEE 1394  
問題, 37

## M

Microsoft Windows  
ラベル, 10

## P

PCI Express カード  
取り外し, 80  
取り付け, 78

PC Restore, 57, 58

## S

SATA「シリアル ATA」  
を参照

## T

TV  
コンピュータへの接続, 15

## U

USB  
デバイスからの起動, 113

## W

Windows XP  
システムの復元, 57-58  
スキャナー, 45  
デバイスドライバのロール  
バック, 56  
ネットワークセットアップ  
ウィザード, 17  
ハイパースレッディ  
ング, 29  
ハードウェアに関するトラ  
ブルシューティング, 57  
復元, 57-58  
プログラム互換性ウィザード,  
39  
ヘルプとサポートセン  
ター, 11

## あ

安全にお使いいただく  
ために, 9

## い

インターネット  
接続、オプション, 17  
接続、セットアップ, 17  
接続、説明, 17  
問題, 34

## う

ウィザード  
ネットワークセットアップ  
ウィザード, 17  
プログラム互換性ウ  
ィザード, 39

## え

エンドユーザーライセンス  
契約, 9  
エラーメッセージ  
診断ライト, 49

## お

オーディオ「サウンド」  
を参照  
オペレーティングシステム  
復元, 57-58

## 音量

調整, 45

## か

カード  
サポートされる種類, 77  
スロット, 77  
取り外し, 80  
取り付け, 78

快適な使い方, 9

## カバー

カバーの取り付け, 101

画面 「モニター」を参照

## き

キーボード  
問題, 37

## 起動

USB デバイスから, 113

起動順序, 112  
オプション設定, 113  
変更, 113-114

休止状態モード, 25, 27

## こ

コンピュータ  
以前の動作状態の  
復元, 57-58  
クラッシュ, 38-39  
クリーニング, 116

## コンピュータ (続き)

内部, 71  
反応が停止した場合, 38

## さ

サービスタグ, 10

## 再生

CD, DVD, 19

## サウンド

音量, 45  
問題, 45

## サポート

デルの連絡先, 117  
ポリシー, 117

## し

システムの復元, 57-58

システム基板, 72

## 仕様

オーディオ, 104  
拡張バス, 104  
環境, 107  
技術, 103  
コネクタ, 105  
コンピュータ情報, 104  
サイズと重量, 107  
電源, 106  
ドライブ, 104  
ビデオ, 104  
プロセッサ, 103  
ボタンとライト, 106  
メモリ, 103



シリアル ATA, 83

診断プログラム

    デル, 53

    ライト, 49

診断ライト, 49

## す

スキャナー

    問題, 44

スタンバイモード, 24

スピーカー

    音量, 45

    問題, 45

## せ

製品情報ガイド, 9

設定

    セットアップユーティリティ, 107

セットアップ説明図, 9

セットアップユーティリティ

    オプション, 109

    画面, 108

    起動, 108

## そ

ソフトウェア

    ハイパースレッディング, 29

    問題, 38-39

## ち

チェックディスク, 33

## て

デル

    サポートサイト, 10

    サポートポリシー, 117

    連絡先, 117

ディスプレイ 「モニター」  
    を参照

テクニカルサポート

    ポリシー, 117

デル

    Dell Diagnostics (診断)  
    プログラム, 53

電源

    オプション, 25

    オプション、スキーム, 26

    オプション、休止状態, 27

    オプション、詳細設定, 26

    管理, 24

    休止状態モード, 25, 27

    スタンバイモード, 24

    節約, 24

    問題, 42

電源ライト

    状態, 42

電子メール

    問題, 34

## と

ドライバ

    確認, 55

    説明, 55

ドライブ

    シリアル ATA, 83

    ハードドライブ, 83

    ハードドライブの取り  
    外し, 84

    ハードドライブの取り  
    付け, 85

    フロッピーの取り外し, 93

    フロッピーの取り付け, 95  
    問題, 32

トラブルシューティング

    Dell Diagnostics (診断) プ  
    ログラム, 53

    以前の動作状態の復元, 57-  
    58

    診断ライト, 49

    ハードウェアに関するトラ  
    ブルシューティング, 57

    ヒント, 31

    ヘルプとサポートセン  
    ター, 11

## に

認可機関の情報, 9

## ね

- ネットワーク
  - セットアップ, 16
  - ネットワークセットアップウィザード, 17
  - 問題, 41
- ネットワークセットアップウィザード, 17

## の

- カバー
  - カバー, 69

## は

- ハードドライブ
  - 取り外し, 84
  - 取り付け, 85
- ハードウェア
  - Dell Diagnostics (診断)プログラム, 53
- ハードウェアに関するトラブルシューティング, 57
- ハードドライブ
  - 問題, 33
- ハイパースレッディング, 29
- パスワード
  - ジャンパ, 114
  - 取り消し, 114
- バッテリー
  - 交換, 99
  - 問題, 31

## ひ

- ビデオ
  - 問題, 46

## ふ

- 復元
  - Windows XP, 57-58
- 部品の取り付け
  - コンピュータの電源切断, 63
  - 作業を開始する前に, 63
  - 推奨ツール, 63
- プリンタ
  - USB, 14
  - ケーブル, 13
  - セットアップ, 13
  - 接続, 13
  - 問題, 43
- プログラム互換性ウィザード, 39
- フロッピードライブ
  - 取り外し, 93
  - 取り付け, 95

## へ

- ヘルプとサポートセンター, 11

## ほ

- 保証に関する情報, 9

## ま

- マウス
  - 問題, 40
- マザーボード 「システム基板」を参照
- マニュアル
  - 安全について, 9
  - エンドユーザーライセンス契約, 9
  - オンライン, 10
  - 快適な, 9
  - 規制, 9
  - セットアップ説明図, 9
  - 製品情報ガイド, 9
  - 保証, 9

## め

- メッセージ
  - エラー, 35
- メディアカードリーダー
  - 使い方, 14
  - 取り外し, 90
  - 取り付け, 91
  - 問題, 36
- メモリ
  - 4 GB 構成, 74
  - DDR2 の概要, 73
  - サポートされる種類, 73
  - 取り外し, 76
  - 取り付け, 74
  - 取り付けガイドライン, 73
  - 問題, 40

## も

### モデム

追加, 97

問題, 34

### モニター

TV の接続, 15

拡張デスクトップ

モード, 16

クローンモード, 16

ディスプレイ設定, 16

何も表示されない場合, 46

見づらい場合, 47

問題, 46

### 問題

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 53

CD ドライブ, 32

CD/DVD-RW ドライブ, 33

DVD ドライブ, 32

IEEE 1394, 37

青色の画面, 39

インターネット, 34

以前の動作状態の復元, 57,  
58

一般的な注意, 38

エラーメッセージ, 35

音量の調整, 45

画面が見づらい場合, 47

画面に何も表示されな  
い場合, 46

キーボード, 37

コンピュータがクラッシュ  
した場合, 38-39

### 問題 (続き)

コンピュータの反応が停止  
した場合, 38

サウンドとスピーカー, 45

診断ライト, 49

スキャナー, 44

ソフトウェア, 38-39

テクニカルサポートポリ  
シー, 117

電源, 42

電源ライトの状態, 42

電子メール, 34

トラブルシューティングの  
ヒント, 31

ドライブ, 32

ネットワーク, 41

ハードドライブ, 33

バッテリー, 31

ビデオとモニター, 46

プリンタ, 43

プログラムがクラッシュす  
る場合, 38

プログラムが応答しなく  
なった場合, 38

プログラムと Windows  
の互換性, 39

マウス, 40

メディアカードリーダー, 36

メモリ, 40

モデム, 34

モニターが見づらい  
場合, 47

モニターに何も表示されな  
い場合, 46

## ら

### ライト

コンピュータの背面, 49

診断, 49

### ラベル

Microsoft Windows, 10

サービスタグ, 10

